

令和3年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(令和2年度分)

寒河江市教育委員会

目 次

I	寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	2
1.	教育委員会の開催	2
2.	教育委員会協議会の開催	4
3.	教育委員会会議以外の活動	5
III	施策の体系	6
IV	外部評価委員の意見	8
1.	総 括	8
2.	施策ごとの意見	9
V	点検・評価対象事業一覧	20
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	22

I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の方から教育行政について理解を深めていただくため、平成21年度より、3名の外部評価委員の方々から意見をいただき、点検・評価を実施しております。

今年度は、令和2年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、令和2年度に実施した教育委員会所管事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な41事業を対象に実施しています。

3. 点検・評価の方法

点検・評価の対象とした事業については、「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価した上で、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

寒河江市教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
三 浦 智 子	山形大学大学院教育実践研究科 准教授
佐 藤 志津男	元教員
秋 場 礼 子	元市体育振興公社事務局長

II 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催

開催日	区分	議案 番号	会 議 内 容
令和2年 4月21日	定例	13	公民館整備事業費補助金交付規程の一部改訂について（追加）
		14	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について（追加）
5月21日	定例	15	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		16	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		17	アイジー地域産業未来応援基金条例の制定に対する意見の申出について
		18	令和2年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
6月23日	定例	19	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		20	寒河江市教育事務評価委員の委嘱について
		21	寒河江市立小中学校管理規則の一部改正について
		22	寒河江市社会教育委員の委嘱について
		23	寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
		24	寒河江市図書館協議会委員の任命について
7月22日	定例	25	令和3年度使用教科用図書の採択について
		26	令和2年度教育費予算案に対する意見の申出について
		27	寒河江市スポーツ推進審議会委員の任命について
8月20日	定例	28	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について（追加）
		29	教育委員会の事務事業（令和元年度分）の点検・評価について
		30	寒河江市教育振興計画検討委員会委員の委嘱について
		31	寒河江市子ども読書活動推進計画検討委員会委員の委嘱について
		32	寒河江市図書館協議会委員の任命について

開催日	区分	議案 番号	会 議 内 容
9月25日	定例	33	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		34	寒河江市指定有形文化財の指定について
10月23日	定例	35	令和2年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
11月26日	定例	36	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
令和3年 1月21日	定例	1	寒河江市立学校職員衛生管理規定の制定について
2月24日	定例	2	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
2月24日	定例	3	令和2年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		4	令和3年度教育費予算案に対する意見の申出について
		5	寒河江市立学校の設置等に関する条例の一部改正に対する意見の申出について
		6	寒河江市中学校給食費徴収条例の廃止に対する意見の申出について
		7	寒河江市教育委員会の職員のサービスの宣言に関する条例の一部改正に対する意見の申出について
		8	寒河江市公民館に関する条例の一部改正に対する意見の申出について
		9	寒河江市立小中学校管理規則の一部改正について
3月8日	臨時	10	令和3年度寒河江市立小中学校教職員人事異動内申について
3月24日	定例	11	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		12	第2次寒河江市教育振興計画の改定について
		13	寒河江市子ども読書活動推進計画について
		14	寒河江市スポーツ推進計画の改訂について

開催日	区分	議案番号	会議内容
3月24日	定例	15	令和3年度教育行政の一般方針について
		16	公民館長の任命について
		17	寒河江市立図書館長の任命について
		18	寒河江市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		19	寒河江市小中学校通学区域に関する規則の一部改正について
		20	寒河江市中学校給食費徴収条例施行規則の廃止について
		21	寒河江市市民文化会館に関する条例施行規則の一部改正について
		22	寒河江市教育委員会公印規程の一部改正について
		23	寒河江市いじめ防止基本方針の一部改正について
		24	寒河江市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の制定について
		25	寒河江市教育委員会規程で定める申請書等の押印の特例に関する規程の制定について
26	令和3年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について		

2. 教育委員会協議会の開催

◆開催回数 平成2年4月21日 ほかに12回

◆報告及び協議内容

○新型コロナウイルス感染症対応について

- ・学校教育課（感染状況、入学式中止、段階的学校再開、中体連中止と代替試合、学校施設の貸出再開 他）
- ・生涯学習課（各種イベント等の中止、成人式延期、ワクチン接種会場 他）
- ・スポーツ振興課（各種スポーツ大会等の中止、体育施設の閉鎖 他）

○中学校給食調理業務委託の更新について

○山形広域炊飯施設について

○児童生徒へのタブレットPC配布について

○幸生小の閉校について 他

3. 教育委員会会議以外の活動

(1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
5月29日	醍醐小学校	10月15日	陵西中学校
7月8日	陵東中学校	10月28日	柴橋小学校
7月10日	寒河江中部小学校	12月11日	三泉小学校
9月29日	南部小学校		

(2) 総合教育会議

実施日	内 容
令和2年 11月4日	(1) 寒河江市の教育等の振興に関する大綱について (2) 第2次寒河江市教育振興計画の改定について
令和3年 2月18日	小中学校におけるICTの導入と今後の活用について (1) 本市の整備状況について (2) 本市導入の端末について (3) 学習支援ソフト「ミライシード」について

(3) その他調査・研修活動等

実施日	内 容
令和2年 11月15日	幸生小学校閉校記念式典

III 施策の体系

第2次寒河江市教育振興計画

《基本目標》 ふるさとを愛し、寒河江から夢のある未来を切り拓く人づくり
 ～ 共に学ぶ 共に育む ～

《基本方針》

《主要施策》

《具体的な施策》

【基本方針1】

豊かな心と健やかな体を育む

1 思いやりの心や規範意識の醸成

多様な体験と規範意識の醸成

基本的な生活習慣の確立

2 命や生き方を大切にする教育の推進

学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進

3 健やかな体を育む取組の推進

元気に遊ぶ子どもの育成

学校体育の充実

4 食育の推進

豊かな心と命を育む食育の推進

幼保小中や家庭、地域が連携した食育の推進

地産地消の推進

5 心を育む読書活動の推進

本が好きな子どもの育成

自主的な読書活動の支援

6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進

芸術文化に触れる機会の充実

芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造

【基本方針2】

学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む

1 学びの充実と確かな学力の育成

学ぶ力を高める教育の推進

主体的な活動ができる力の育成

多様な学習環境づくり

2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進

特別支援教育の充実

教育相談機能の充実

3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進

ICTを活用した情報教育の推進

外国語(英語)学習や国際理解教育の推進

4 発達に応じた学びを育む教育の推進

幼児教育の充実

幼保小中高の連携の推進

5 キャリア教育の推進

社会的・職業的自立に向けた教育の推進

【基本方針3】

生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する

1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進

生涯を通じた学習機会の充実

共に学び合う体制づくり

2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進

誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進

競技力向上の推進

スポーツ環境の整備と充実

スポーツを通じた地域活性化の推進

【基本方針4】

ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う

1 ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進

地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進

2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進

ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護

民俗芸能や伝統行事の保護と伝承

史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用

【基本方針5】

教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する

1 信頼される教育の推進

特色ある教育の創造

信頼される教育環境づくり

2 安全安心で充実した教育環境の整備

安全教育の充実

安全管理の徹底

3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化

地域の特色を生かした公民館活動の推進

活力ある地域をつくる地区公民館運営

生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化

4 開かれた教育行政の推進

信頼に応える教育行政の推進

教育情報の公開と共有化の推進

IV 外部評価委員の意見

1. 総括

- 教育委員会事務事業の評価の観点とは、個々の事業が実施されることにより得られる効果が、市民のニーズや財政的負担に照らして妥当なものと言えるか、ということになるかと思われるが、その際には、事業の「効果」をどのように測定・評価するのか、その方法自体が問われることにもなる。特に、学校教育にかかる事業であれば、事業の実施状況にかかわる学校ごとの環境の違いや各教員の取り組みの態様等もその事業の効果に大きく影響するはずであり、学校レベルでなされる評価を考慮することも重要となるのではないだろうか。例えば、文部科学省によるGIGAスクール構想の下でのICT活用、このようにトップダウン的に実施される政策的取り組みについて、自治体としてはその導入・推進状況のみを事務事業評価の観点とすることに留まるのではなく、これが教員や児童生徒、保護者等、学校レベルでの活動にもたらす影響にも着目し、その効果が検証されるべきではないか、ということである。また、コロナ禍では、市民や児童生徒が密集して実施する事業については、中止を余儀なくされるケースが多く生じている。学校教育、社会教育・生涯学習、スポーツ振興など、あらゆる市民の活動を支えるという視点から、感染拡大のリスクを回避しつつ、従来と同程度あるいはそれ以上の効果が得られる事業展開の必要性に迫られている。個々の事業間や所管課間の一層の連携を図る等の工夫により、事業実施における効率化が達成されるだけでなく、新たな価値の創出が期待されているものと思われる。
- 限られた予算の中で、社会の変化に対応しながら特色ある事業を展開されていることに敬意を表します。また、その成果も多方面で表れているものと思います。多くの事業が実施されている訳ですが、関連する部分も多く、その関連性を意識し有効に活用していくことが重要であると感じます。事業の目的は、実施することではなく、実施によってそれに関わった児童生徒の成長や市民の方々の満足感等にあるものと思います。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの事業が中止や規模の縮小といった対応をせざるを得ない状況となりました。準備を進められてきた方々におかれましては、大変なご苦労もあったことと思われます。しかしながら、今回のコロナ禍は、今後の各種事業の在り方を考えるうえで大きな転機ともなるものと思われます。令和3年度については、すぐに見直しとはいかなかったと思いますが、事業を実施していく中で今後の方向性をしっかりと検討していければよいと思います。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、事業の縮小や延期、中止が余儀なくされた中で、事務事業の点検・評価を行うことは、前年との数値的な比較もできず困難なものとなったと思います。今後に向けて、事業の「必要性・効率性・有効性」等をゼロから再点検する機会ととらえ、「新しい生活様式」の中での施策に結び付けていただくことを願っております。

2. 施策ごとの意見

(1) 生涯学習の推進・充実

【青少年健全育成事業】

- インターネット犯罪に巻き込まれるケースや、インターネット関連のいじめ等の犯罪割合が急増している状況にあつて、未然防止策や注意喚起・啓発活動に力を入れているとのことであるが、引き続き、多様な犯罪・事件の事例や他自治体の取り組み等についての情報収集を図るとともに、（インターネット利用開始の低年齢化が進むことが想定される中で）学校教育との連携も視野に入れた上で、インターネットの安全利用、いじめ・犯罪の抑止に向けた取り組みの強化を期待する。
- 青少年健全育成事業に関しては、生涯学習課と学校教育課との、より一層の連携や情報共有が必要であると思います。そうすることにより、お互いの分野でそれぞれを補いながら事業を進めていくことが可能となるのではないのでしょうか。また、ネット関連の事案も心配される状況ですが、逆にネットを活用した啓発活動等も有効かと思えます。
- コロナ禍で夕刻・夜間街頭指導などの活動が制限される中、子どもたちの行動も制限され外出しないで家にいる時間が長くなることにより、インターネット関連の犯罪に巻き込まれる危険が増えている。実態が確認できにくい分野とは思いますが、被害者にも加害者にもならないよう、現状に合った有効な対策を早急に進めていただきたい。

【芸術文化振興事業】

- （美術館運営事業を兼ねる）いずれの事業にも共通することとして、Withコロナ、Afterコロナ下における事業の在り方が問われているように思われる。感染拡大防止の観点から中止を余儀なくされた芸術文化活動の再開を願いつつ、これまでどおりの実施が困難な状況であっても、市民による芸術文化活動を支える施策は必要不可欠であり、さらに工夫・研究を重ねることで事業の在り方を模索していくことが期待されているものと考ええる。
- 令和2年度は、多くの活動を中止せざるを得ない状況となり、準備等に関わってこられた方々も大変だと思えます。芸術文化もスポーツと同じように生涯にわたって楽しんでいけることが大切だと思います。個々の事業について、評価と見直しを図りながら実施して行ってほしいと思えます。
- コロナ禍における事業の実施については、難しい判断が伴うと思えますが、感染拡大防止に努めながら、実施できる工夫をすることも大事であると思えます。今後は、ワクチンの接種状況をみながら、市民が芸術文化に触れる機会を確保していただきたい。

【美術館運営事業】

- 市民の方々が、美術作品に触れるきっかけとなるような企画・展示を今後とも期待しています。
- 一昨年の「鬼海弘雄写真展」は、県内外から多くの来場者があり、市民が芸術文化に親しむ機会と賑わいをもたらしたと思えます。このような魅力ある特別企画展の開催に、積極的に取り組むことを希望します。

【公民館活動事業】

- Withコロナ、Afterコロナ下における事業の在り方が問われているように思われる。感染拡大防止の観点から開催できなかったコンサートの演奏を、ビデオに収め各高齢者施設へ贈呈するなどの工夫がさらに進むことで、市民活動の促進が図られることを期待する。特に、昨今その整備が進められているICT活用等も視野に入れることにより、新たな講座・レクリエーション等の展開を検討する余地が生じるのではないかとも思われる。
- 地域コミュニティの活性化の面で、公民館活動は重要な役割を担っていると思います。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により中止された活動も多かったようです。是非、これを機会に、活動内容の見直しを行い、多くの人が進んで参加したい公民館活動となっていくことを期待します。
- 地元の要望で、自主的な運営を行うような事業に対し支援していくことは、地域の活性化に繋がることなので、引き続き支援をお願いしたい。

【放課後子ども教室推進事業】

- 児童生徒が、家族や教職員以外の大人と触れ合う機会や関わる場を設定することは、子どもたちの心身の成長や自己肯定感の育成のためにも重要であると思います。地域の特色を生かしながら事業が行われていくことを期待します。
- 子ども達にとって、学年間や地域の方々との交流は、社会性や自然体験の大事な機会となっているので、引き続き工夫して実施していただきたいと思います。

【公民館整備事業】

- 地域の方々が快適に利用できるよう、今後とも事業を進めていってほしいと思います。
- 地区公民館分館のエアコン設置・照明のLED化、洋式トイレ化など要望も多く実施が進んできたが、耐震補強未対応分館が4分館残っていることは残念なことで、早急な対応が必要である。大規模な工事になるので地元負担も大きいと思うが、地元負担軽減への取り組みなどで、危険解消が早められるよう今後とも働きかけをお願いします。

【寒河江さくらんぼ大学推進事業】

- 事業の趣旨は大変有意義であると思います。令和2年度は全面中止とのことでしたが、新型コロナウイルスの感染がなかなかおさまらない状況を考えれば、オンライン研修の取り組み等も考え実践していくことが必要ではないかと思います。「今後の対応等」にある、高度に専門的に学ぶ「大学院」の開設も、いい取り組みだと思います。今後、新規受講者の掘り起こしや若い方々の受講者を増やしていくことが課題の一つであると思います。
- 様々な事業が新型コロナの影響を受けやむなく中止になったケースが多いが、コロナの収束を待つだけでなく、withコロナで工夫をしていく必要があると思う。また、収束後も以前と同じに戻るとは限らないので、今から「新しい生活様式」での活動を研究していただきたい。

(2) 読書活動の推進・充実

【読書の盛んな学校づくり事業】

- 教育活動補助員の配置に加え、読書活動の推進に向けて、中学校区ごとに開催される教育活動補助員の研修会の充実も目指されているとのこと、図書館管理システムの有効活用等と併せ、児童生徒の読書環境の一層の充実が図られるよう期待する。一方、これらの業務拡充の成果について、どのように測定・把握していくことが望ましいのか。学区や学校ごとの児童生徒による読書活動の実態を評価することに加え、読書活動の活性化によって期待される教育上の効果は多岐にわたることを視野に入れ、評価の観点を明確にした効果検証の方法を追求することが必要とされているものと思われる。
- 児童生徒が読書をする時間は、なかなか増加していないのが現状です。読書好きな子どもを育てるためには、親が読書する姿を子どもに見せることや本について親子で話し合う場を設けることが大切だと思いますが、なかなかそれも難しい状況なのだと思います。だからこそ、学校で子どもたちが本を手取るようなきっかけを与えることが重要だと思います。そのためには、読書活動推進員の方々の働きかけも大事なポイントとなります。これまでの配置では、特に中学校においては週1回ということで、少ない状況でした。令和3年度は、事務補助業務兼務ながら読書活動推進員が全校に配置され、専門性の確保のための研修も実施されるとのこと、本好きな子どもたちが増え、想像力豊かな大人に成長していってくれることを期待します。
- 読書活動推進業務と事務補助業務を兼務する「教育活動補助員」を各校に年間を通して配置し、読書活動の推進を図ろうとする意図は理解できますが、業務を兼務することになるので、業務の配分や読書活動に関する専門的な知識や経験を積む機会を確保して、質量とも充実したものになるようお願いします。

【図書館管理運営事業】

- とても利用しやすい環境整備がなされていると思います。是非、これまで図書館に足を運んだことのない人にも利用していただけるよう、PRしていければよいと思います。
- コロナ禍で図書館を閉館していた期間があるとはいえ、利用状況の減少幅が非常に大きいと思います。滞在時間の短縮など制限したことが影響しているようですが、要因を検証することで今後の利用状況の改善に繋げていただきたい。

【図書館資料等購入事業】

- 「読書の盛んな学校づくり事業」や「読書普及事業」の推進と相俟って、小・中学生の学習に資する図書資料のニーズも高まるものと思われる。学齢期の児童生徒による図書館利用が活発化・習慣化されることにより、市民の図書館利用が促進され、生涯学習の拠点施設としての図書館の一層の充実が図られることを期待する。
- 「読みたい本がある」ということが図書館を利用する人の増加にもつながると思います。図書館としての役割を考えれば、図書資料等の購入のバランスも重要ではあると思いますが、特色を出していくことも大切ではないかと思えます。

【読書普及事業】

- 定例事業や利用者の興味関心をひく図書館自主事業等により、多くの方々が図書館を利用される状況となっていることは大変素晴らしいと思います。多くの方が集まるのが容易にできない状況が続いていますが、今後とも読書に関する興味・関心が高まるような取り組みを進めていってほしいと思います。
- コロナ禍で様々な事業が制限された中で、工夫を凝らしてできる事を実施した成果が認められます。特に、子どもたちが興味を持つ事業を、継続して取り組んでいただきたいと思います。

(3) 生涯スポーツの推進・充実

【生涯スポーツ振興事業】

- コロナ禍においては、感染拡大防止の観点からスポーツ推進事業等の中止や縮小実施を余儀なくされたが、新たなニーズに対応すべく、在宅での体力づくり等に向けた事業の工夫が始められている点、今後の事業のさらなる発展が期待される。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、残念ながら計画した事業が思うように実施できなかったわけですが、計画されていた事業は生涯スポーツの推進にとって大きな役割を果たすものだったと思います。多くの市民の方々が、気楽な感じで参加できるスポーツ教室等の継続的な実施を期待します。
- これまで長い時間をかけて積み上げてきたスポーツの習慣やスポーツ人口の拡大の取り組みは、コロナ禍でたちまち萎んでしまった。これを元に戻すのは大変なことだが、気持ちから完全に離れないうちに、既存の組織を利用した活動の他にも、withコロナで取り組めることを研究し、スポーツに親しむことができる社会環境の実現にご尽力くださるようお願いいたします。

【体育施設整備事業】

- 市民体育館については、修繕等が必要な箇所も出てくると思いますが、市民がスポーツに親しむことや、児童生徒のスポーツ活動にとってなくてはならないものとなっています。今後とも、良好な利用環境の維持をお願いします。
- スポーツ施設実態調査を実施し、優先順位や安全性から整備を順次進めてきたことは、事故防止や利用者の安全性・利便性を高めていると思います。ただし、老朽化により突発的に整備が必要になるケースも予想されるので、緊急時に対応できるような方策も必要になってきます。施設の状況に応じて柔軟な対応をするなど工夫もみられるようですが、基本である安全・快適で利用しやすい体育施設の整備に努められることを願っています。

【地域スポーツ活性化推進事業】

- 児童生徒市民の方々の心身の健康維持や寒河江市のPR、交流人口を増やすといった点からも、意義ある事業だと思えます。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、残念ながら計画した事業が行えなかったわけですが、感染対策を講じながら、また事業内容にも工夫を凝らしながら実施していってほしいと思います。

- さくらんぼマラソン大会のオンライン大会など、withコロナによる新しい取り組みは期待できると思います。何もしなのではなく、どうすればできるかを考え、前向きに取り組んでいく姿勢は、市民にも伝わるものと思います。

(4) 特色ある学校づくりの推進・充実

【さがえっこ育み推進事業】

- 「さがえっこの育み10か条」の普及に関しては、その周知が本事業のゴールとなるわけではない。リーフレット等を活用、あるいは啓発動画を作成・放映することによって認知度を高めることが、結果として、児童生徒の態様や教育の在り方にどのような影響をもたらしたのかという点について、検証を行うことが必要ではないか。コミュニティ・スクールの導入についても同様、この事業を推進することによってどのような教育活動の実現を目指すのか、例えば、「学校支援ボランティア活動の展開」も、手段であって目的ではない。期待される教育上の効果を明確にした上での評価が求められる。
- 「事業の評価」には、「さがえっこの育み10か条」が浸透してきているとありますが、どうでしょうか。各種事業と「10か条」の関連性もPRしながら、普及に関わる取り組みを進めていくことが必要であると思います。また、コミュニティ・スクールが有効に活用されるには、地域コーディネーターや地域学校協働本部の動きが大きな役割を持つと思われます。地域コーディネーターの方々同士の実践交流や研修を実施しながら、学校の活動の支えとなるコミュニティ・スクールとなっていくことを期待します。
- 地域コーディネーター配置による事業拡充に期待します。

【特色ある学校づくり支援事業】

- さがえっこ育み推進事業やコミュニティ・スクールの導入と、期待される教育上の効果と同じくする面や、関連する活動が多くあるように思われる。事業の目的の明確化及び他事業との関連性を考慮した効率化が必要とされているのではないかと考える。
- 各学校で、地域や家庭と連携した特色のある活動が行われていると思います。それぞれの学校での創意工夫が生かせる事業であり、子どもたちの豊かな体験的な学習のためにも継続していくことを期待します。

(5) 児童生徒の学ぶ力の育成

【教育研究推進事業・学力向上推進事業】

- 学力検査や知能検査等の結果分析に基づく授業改善、あるいは教職員の資質能力の向上を促進することにより、学力の向上を図るとのことであるが、一般的に「インプット」（教員による指導等の具体的内容）と「アウトプット」（児童生徒の学力等）の因果関係を特定して観察・評価することは容易ではなく、諸々の調査結果及び学力データの分析手法に関する研究を深めることが不可欠と思われる。また、「アウトプット」それ自体についても、学力検査等によって得られたデータ等から把握される実態がすべてというわけではないことにも留意した上で、授業改善や教職員の資質能力向上の在り方について検討する必要があるのではないかと。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により研修会等が実施できませんでし

たが、これまでの実践では、中学校区毎に特色ある取り組みがなされ、授業改善に関わる研究や学力向上に関する取り組みも行われ、成果も出ていると思います。各中学校区の自主性を大切にしながら、事業を継続して実施してほしいと思います。ただ、中学校区ごとの研究推進体制も令和3年度で5年目となります。マンネリ化しないように、各中学校区毎に課題を明確にして、取り組んでいくことに期待します。

【英語力育成事業】

- 中学校第2学年で実施したGTECにおいて、「話す」「聞く」のスコアに課題が見られたとのことであるが、こうした技能については、中学校での学習活動のみならず、小学校段階での学習や学校外での活動等も含めた取り組みの成果として捉えることもできるように思われる。ALT、AETの活用の仕方も含め、英語力を育成するための環境整備について、より長期的・多角的なアプローチができるよう、基礎的研究を進めることも必要ではないか。
- 英語教育の充実は、寒河江市のみならず山形県の大きな課題となっています。市では、ALTやAETの派遣、GTECの実施等、英語力向上に力を入れてこられたことが、だんだんと成果に結びついてきているように思います。しかしながら、一番大切なことは日頃の学校における授業です。特に中学校における英語担当教員の授業変革が求められます。是非、そうした面からのアプローチも行いながら事業の拡充を期待します。
- ALTやAETを各学校に派遣することにより、小学校の外国語活動や中学校の外国語の学習の充実につながることは間違いないと思う。事業の拡充により、ALTの増員や各中学校へ常駐することは、更に英語に触れる機会が増え英語力を身に付けることに期待が持てます。

【教育相談事業】

- 不登校の未然防止や解消に向けて、小学校段階での対応に力を入れるとともに、小中連携による対応を図っていくとのこと、非常に重要な取り組みとなるものと思われる。一方で、教育相談事業のさらなる充実という点においては、「不登校」という形では出現しない生徒指導上の問題も多く、これらの問題にいかに関心かつ早期に気づき、学校内外の連携により適切に対応できるかが問われている。「不登校」の発生数の把握や不登校事例の解消のみにとらわれない、日常的で幅広い対応が適切になされるよう期待する。
- 寒河江市の中学校の不登校生徒数は、ようやく減少傾向がみられるようになってきましたが、まだまだ出現率は高い状況が続いています。また一方、小学校における不登校児童数は増加傾向にあり、小学校における早期の対応、教職員の不登校児童生徒への対応の仕方のスキルアップ、不登校児童生徒の保護者や家庭への支援が、より一層求められる状況です。是非、事業の拡充をお願いしたいと思います。
- 小学生の不登校が増加傾向にあるなど、低年齢化が心配です。教育相談員の増員など事業を拡充する予定ですが、小学校段階での対応など、できるだけ未然に防ぐことにご尽力いただきたい。

【学力向上支援員配置事業】

- 学力向上支援員の配置は、小中学校にとって様々な面から大きなメリットが感じられる事業となっています。特に、特別な支援が必要な児童生徒が増えており、そうした子ども

もたちの成長のためにも、より一層の事業の拡充が望まれます。また、拡充により、一人ひとりの児童生徒へのきめ細かな指導がより一層充実し、学校と保護者との間の信頼関係も高まるものと思われまます。学力の問題は、「不登校」や「貧困」とも大きく関わるものです。児童生徒の「自己肯定感」を育てていくためにも、重要な事業であると思ひます。

- 学力向上支援員、特別支援教育補助員、学校生活補助員の配置は、支援が必要な子どもにとってはなくてはならない制度だと思ひますので、学習・生活上の支援を継続して欲しいと思ひます。

【障害児通学支援事業】

- 児童生徒の安全面の確保及び保護者の負担軽減の面からも、是非、登下校往復での支援がなされるよう、事業の拡充を期待します。
- 支援の対象が登校時または下校時の片道になっていますが、保護者の負担を考えると当然に登下校往復で支援を行うべきと考えます。寒河江学園の児童生徒にも利用を拡大したことは、制度の積極的な利用と評価したいと思ひます。

【さがえっこライフデザインセミナー事業】

- 児童生徒自身が自らの生き方や将来設計、地域社会への貢献の在り方等について考えるという点において、「さがえっこ育み推進事業」や「特色ある学校づくり支援事業」、あるいは「教育相談事業」と関連する面が大いにあるように思われる。それぞれの事業の目的を達成する上で、相乗効果が期待できるような事業運営を期待する。
- 各学校で特色ある事業が行われているようであり、本事業の趣旨が理解され、活用されていることがうかがえます。様々な地域やそれぞれの分野で活躍している方々のお話をうかがったり、いろいろな体験をしたりすることは、子どもたちにとって大変重要なことです。こうした体験の中から、自らの将来の夢や希望の実現に関するヒントを得られることも考えられます。是非、児童生徒のみならず、保護者の方々にも参加していただけるような方向で授業を拡充して欲しいと思ひます。また、特に中学校においては、性教育との連携等も考慮していければ、より事業目的にも沿った取り組みになるのではないかとと思ひます。
- 独自の企画による事業は、それぞれ特色ある内容での取り組みに期待できます。過去の事業内容を共有化することにより、一層中身の濃い企画ができると思ひます。子ども達が将来のライフデザインを考える機会を、引き続き継続していただきたい。

【小中学校ICT活用支援事業】

- 全児童生徒へのタブレット導入が図られ、授業での使用のみならず、家庭学習のほか学校情報の配信、オンライン家庭訪問等にも活用されているとのこと、非常に意欲的な取り組みであると思われる。従来の学習活動によって得られていた効果に加えて、ICT活用により、具体的にどのような改善やメリットがあったのか、明らかにしていくことが今後の課題となるものと思われる。効果の検証を行いながら、学習活動の一層の充実や、ICT活用による新たな学習形態や活動の方向性について、さらに追究されることを期待したい。

- 児童生徒一人ひとりへのタブレットの配付など、他市町に先駆けて実施していただき、大変ありがたいことだと思います。また、校務支援ソフトの導入も、教職員の働き方改革の一助となっています。せっかく整備したICT機器が有効に活用されるよう、授業での活用はもちろんのこと、学級通信や学年通信、部活動の練習計画等もタブレットを通しての配信を進めるなど、使うことが当たり前の状況にしていくことが重要であると思います。
- 全児童生徒にタブレットが導入され、活用場面も順調に増えていることは評価できると思います。子ども達が抵抗感なく馴染んでいくことを期待します。

【就学援助事業(小学校)(中学校)】

- 日本では、18歳未満の子どもの、およそ7人に1人が貧困状態にあるといわれており、「子の貧困」は社会的に見ても大きな問題となっています。また、こうした「貧困」状態は連鎖するともいわれており、その連鎖を断ち切ることが求められます。そうした観点からも、就学援助は重要な施策です。新型コロナウイルス感染症の拡大により、格差が広がる傾向も見られ、今後の就学援助の一層の拡充が必要と思います。
- 新型コロナウイルスの影響で収入が大きく減少した世帯についても支給対象になるよう制度の充実を図ったことは、時機を得た対応として評価できると思います。今後、オンライン学習通信費も追加なるようで、きめ細かな対応でありがたいと思います。

【学校給食事業(小学校)(中学校)】

- 地元食材が豊富な地域の特徴を生かした食育指導の一層の充実が図られてきたことは、地産地消の推進とともに地域理解の深化に寄与し得るという点においても有意義であるものと思われる。さらに、令和3年度より給食費の無償化が実現されること、学校給食事業の展開が市教育政策の特色化にもさらに貢献することを期待する。
- 地域の食材を積極的に取り入れたり、テーマ性のあるメニューに取り組みたり、様々な工夫をして給食を通して食育指導を行っていることは、とてもよいことであり、今後とも継続させていってほしいと思います。また、給食の単価の引き上げや助成額のアップなど、子どもたちや保護者にも喜ばれるものとなったのではないかと思います。
- 学校給食の内容充実と助成の増額により、保護者の負担軽減につながるとともに、安心安全な給食の提供ができていると思います。令和3年度からは事業の拡充で、完全無料化が実施されるようですが、併せて地元食材を多く使うことで、ますます地産地消を推進していくことを期待します。

(6) 文化財の保存・活用の充実

【市史編纂事業】

- 市史編纂は、地道な作業と多くの時間が必要とされる事業です。これまで、様々な基礎資料を整備するとともに、資料の散逸や消失を防ぐ努力が続けられてきたことに敬意を表します。専門的な知識も必要とされる事業であり、長期的な計画のもと継続して行ってほしいと思います。

【文化財保存活用事業】

- 歴史的文化財に関しては、その保存が喫緊の課題となっています。しかしながら、このことについての市民の興味・関心は、全体的にはそれほど高くないのが現状です。例えば、「今後の対応等」にあげられている「花買場跡」は、荒れた状態となっており案内の石柱がなければ、何だか分からない状況となっています。予算の問題もあるでしょうが、是非今後とも文化財の保存活用に取り組んでいただきたいと思います。「文化財保存活用計画」については、実現の可能性の高いものと、予算等の関係からすぐには難しいもの、また将来的にもその実現が難しいと思われるものなどが混在している状況でないかと思われます。急いで策定しても計画が実現に結び付かなければ、何のための計画かということにもなりかねません。あまり急がずに、市としての長期的計画や予算的なものも検討しながら策定していく方がよいのではないかと感じています。

【埋蔵文化財調査事業】

- 慈恩寺関連の文化財に関しては、今後とも計画的に調査を行い、その保存と周知に取り組み、市民及び市外の方々にも見ていただく機会を設けることが重要であると思います。市民の興味・関心を高めることが、文化財の保存・活用にも重要な要素となると思います。
- 今後とも魅力ある企画での「埋蔵文化財フェア」開催により、文化財に対する市民の意識高揚に努めてくださるようお願いします。

【郷土館保存事業】

- 限られた予算の中で、施設の管理や資料の公開、特別展の開催等に取り組まれていることは大変よいことであると思います。今後とも、小中学校の利用促進を図りながら、市民や近隣市町の児童生徒の利用増加にも取り組んでいくことが求められると思います。

(7) 教育行政に対する関心・意識の高揚

【教育委員会事務局管理事業】

- 開かれた教育行政の推進を目指し、例えば、「寒河江市立学校のあり方検討委員会」での検討内容や「寒河江市総合教育会議」の開催等にかかる事務の必要性や重要性については大いに評価されるべきところである。ただ、この事業については、他事業と比べると、具体の事業内容がもたらす効果そのものに着目した評価が難しいようにも感じられる面があり、事業の目的をより明確にする等、事業評価上の工夫を行う必要があるのではないかとと思われる。
- 児童生徒数の減少及び地域による児童生徒数の偏り、また小中学校の校舎の老朽化が著しい学校も見られるなか、市内の小中学校の設置に関して今後どうしていくかは、大変重要かつ早急に決定していかなければならないことだと思います。そうした中で、「寒河江市立学校のあり方検討委員会」を設置し、その課題解決に向けて取り組まれてきたことは大変評価できることだと思います。今後、その答申及び市民の方々の意見を踏まえ、長期的なビジョンを持ちながら対応していかれることを期待します。

- 「アイジー地域産業未来応援基金」の創設により、学校におけるICT関連をますます充実していただきたい。

(8) 教育環境の充実

【小学校管理事業】

- 近年の夏の暑さは、依然の暑さとは違ってきているような感じがします。小学校でも特別教室で授業を行うことも多いわけであり、快適な学習環境の整備の面からエアコン整備を促進して行ってほしいと思います。老朽化が目立つ学校もでてきていますが、今後については、児童の安全確保や教育活動の実施に支障をきたすものに関しては迅速な対応が必要ですが、大規模な改修・修理等については、「寒河江市立学校のあり方検討委員会」の答申も踏まえながら、検討していくことが必要であると思われま
- 教室等へのエアコン設置が順調に進んで、快適な学習環境の整備がなされていると思います。令和3年度中に水飲み場等の自動水栓化が進められるのは、新型コロナの感染予防に繋がるものであり、すばやい対応で時機を得たものと思います。

【中学校管理事業】

- 各中学校のトイレの大規模改修工事（床の乾式化・洋式便器の増設・男子小便器の自動水栓化）の結果、生徒の衛生環境が大幅に改善されたことは、大変よいことだと思います。また、特別支援教室や特別教室のエアコンの整備も進み、生徒が授業を受ける環境が改善したことも大変喜ばしいことだと思います。今後とも、残りの特別教室等のエアコン整備の完了に向けて取り組んで行ってほしいと思います。施設の老朽化とその補修・修理等に関しては、施設の老朽化もあり、全てに対応していくことは難しい面もあると思われま
- 生徒の安全確保や教育活動の実施に支障をきたすものに関しては迅速な対応が必要ですが、大規模な改修・修理等については、「寒河江市立学校のあり方検討委員会」の答申も踏まえながら、検討していくことが必要であると思われま
- 「避難所としても防災機能の強化」に関わって、中学校においても巻カーペットが厚みのあるパンチカーペットに更新されましたが、そうした備品関係のみならず、対応の体制等についてもきちんと見直し、いざという時に適切に対応できるように準備しておくことが必要であると思われま

【学校保健事業(小学校)(中学校)】

- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、消毒用アルコールや各種感染対策に適切に対応されたことは評価できると思います。また、様々な制約のあるなかで児童生徒の各種検診も順調に実施されたことも、子どもたちの健康を守る点からも大変よかったと思います。教職員の健康診断及び精密検査や再検査の実施状況が向上してきていることも喜ばしいことです。ただ、教職員のストレスチェックに関しては、受診率が一昨年度から比べれば上昇したとはいえ、まだまだ十分ではありません。特に中学校の教職員の受診率の向上に、引き続き働きかけが必要ではないでしょうか。なお、その結果の活用に関して、個人情報保護や受診率の向上のためか管理職も教職員の結果については、情報を得ることができないこととなっています。その趣旨は十分に分かるものの、現状では、受診した個人の対応に任されている面が多く、その有効性に関し

てはやや疑問です。

- 教職員のストレスチェックの受診率向上のため、新たに立ち上げた学校職員衛生委員会に期待したい。

【教育振興事業(小学校)、(中学校)】

- デジタル教科書の購入等も行われていることについては評価できますが、まだまだ予算的に足りないのではないのでしょうか。その他の教材費とデジタル教科書の予算が同一項目であると、各学校での予算の執行は、なかなか大変です。毎年、平均的に予算が付けられるよりも、小中学校の教科書採択年度に合わせて、それぞれに優先的に予算を配分し、デジタル教科書の整備を行った方が予算も教材も有効に活用されるのではないのでしょうか。また、教師用指導書の購入に関して多額の予算が使われていますが、現在は各教科書会社等でもネット上で様々な資料がアップされていること等を考えると、これまでのような購入の仕方を大きく見直す必要があるのではないかと感じます。
- 学習教材等の導入が遅れて、子ども達の学習機会が損なわれることのないよう、タイミングよく内容を充実していくようお願いいたします。

【ICT推進事業(小学校)、(中学校)】

- 本事業は、市が単独に推進している事業であるとのことであるが、国の補助事業である「小中学校ICT活用支援事業」との調整や連携をより一層工夫していくことにより、事業のさらなる効率化が図られる面もあるのではないかと。
- 児童生徒への1人1台のタブレットの配置に関しては計画的に取り組み、令和2年度末には配置が完了することができたのは大変良かったと思います。また、その利用方法に関しても家庭でも有効に活用できるよう、モバイルルーターの貸し出し等の環境整備にも配慮されていることもありがたいことだと思います。今後、そうした環境を有効に学習その他に活用していけるような、指導者側の創造力や工夫のある発想と実践が求められるものと思います。
- ICT関連の設備、機器等の導入が遅れて、情報教育に支障が出ることのないように、これからも計画的かつ積極的に推進していくことを希望します。

【スクールバス運行事業】

- 幸生・田代地区の児童生徒の就学機会の確保のために、安全・安心な運航に配慮しつつ、事業の継続が必要であると思います。また、市内の小中学校の校外学習の際の交通手段としても有効に活用できれば、地域に根差した探究学習等の活性化にもつなげられるのではないのでしょうか。
- 小学校閉校に伴い遠距離通学を余儀なくされた児童生徒への支援は、安全性を確保することは勿論ですが、柔軟な対応で運用されることをお願いいたします。

V 点検・評価対象事業一覧

施策の区分	事業名	担当課	施策体系	ページ
① 生涯学習の推進・充実	青少年健全育成事業	生涯学習課	基本方針1 1	22
	芸術文化振興事業	生涯学習課	基本方針1 6	23
	美術館運営事業	生涯学習課	基本方針1 6	24
	公民館活動事業	生涯学習課	基本方針5 3	25
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	基本方針5 3	26
	公民館整備事業	生涯学習課	基本方針5 3	27
	寒河江さくらんぼ大学推進事業	生涯学習課	基本方針3 1	28
② 読書活動の推進・充実	読書の盛んな学校づくり事業	学校教育課	基本方針1 5	29
	図書館管理運営事業	生涯学習課	基本方針1 5	30
	図書資料等購入事業	生涯学習課	基本方針1 5	31
	読書普及事業	生涯学習課	基本方針1 5	32
③ 生涯スポーツの推進・充実	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	基本方針3 2	33
	体育施設整備事業	スポーツ振興課	基本方針3 2	34
	地域スポーツ活性化推進事業	スポーツ振興課	基本方針3 2	35
④ 特色ある学校づくりの推進・充実	さがえっこ育み推進事業	学校教育課	基本方針1 1-2-3 4-5	36
	特色ある学校づくり推進事業	学校教育課	基本方針1 1-2-3 4-5 基本方針2 5 基本方針4 1-2	37
⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	教育研究推進事業・学力向上推進事業	学校教育課	基本方針2 1	38
	英語力育成事業	学校教育課	基本方針2 3	39
	教育相談事業	学校教育課	基本方針2 2	40
	学力向上支援員配置事業	学校教育課	基本方針2 1-2	41
	障害児通学支援事業	学校教育課	基本方針2 2	42

⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	さがえっこライブデザインセミナー事業	学校教育課	基本方針 2 5	43
	小中学校 I C T 活用支援事業	学校教育課	基本方針 2 3	44
	就学援助事業 (小学校)	学校教育課	基本方針 5 1	45
	就学援助事業 (中学校)	学校教育課	基本方針 5 1	46
	学校給食事業 (小学校)	学校教育課	基本方針 1 4	47
	学校給食事業 (中学校)	学校教育課	基本方針 1 4	48
⑥ 文化財の保存・活用の充 実	市史編纂事業	生涯学習課	基本方針 4 2	49
	文化財保存活用事業	生涯学習課	基本方針 4 2	50
	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	基本方針 4 2	51
	郷土館保存事業	生涯学習課	基本方針 4 2	52
⑦ 教育行政に対する関心・ 意識の高揚	教育委員会事務局管理事業	学校教育課	基本方針 5 4	53
⑧ 教育環境の充実	小学校管理事業	学校教育課	基本方針 5 2	54
	中学校管理事業	学校教育課	基本方針 5 2	55
	学校保健事業 (小学校)	学校教育課	基本方針 1 3	56
	学校保健事業 (中学校)	学校教育課	基本方針 1 3	57
	教育振興事業 (小学校)	学校教育課	基本方針 5 1	58
	教育振興事業 (中学校)	学校教育課	基本方針 5 1	59
	I C T 整備推進事業 (小学校)	学校教育課	基本方針 2 3	60
	I C T 整備推進事業 (中学校)	学校教育課	基本方針 2 3	61
	スクールバス運行事業	学校教育課	基本方針 2 1	62

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	青少年健全育成事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の確立	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 7 青少年育成センター費

2. 事業の概要

事業目的	市青少年育成センターを中心に、関係団体と一体となって街頭指導や店舗等への巡回指導を実施し、青少年の健全育成を図る。
事業内容	(1)青少年教育関係諸団体と連携を図りながら、市青少年育成センターによる街頭指導や環境浄化活動等を行う。 (2)青少年育成推進員を委嘱し、地域における青少年の健全育成と非行防止を図るための活動を推進する。 (3)青少年が直面する課題の共有を図るため寒河江市青少年育成市民会議による「子ども・若者健全育成研修会」を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	528	補正額等		合計	528	決算額	191
31	当初予算額	534	補正額等		合計	534	決算額	505

4. 事業の実施状況

<p>(1) 例年実施している、夕刻・夜間街頭指導については、協力をいただいている民生委員・児童委員の方々が高齢の方が多いため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施しなかった。</p> <p>(2) 青少年育成推進員が、村山地区の研修会に参加し、資質の向上を図った。</p>

5. 事業の評価

<p>例年主たる事業として実施してきた夕刻・夜間街頭指導、並びに青少年健全育成研修会等、不特定多数の人と青少年育成推進員や、協力者の方々が触れ合う機会が多い事業を、新型コロナ感染症拡大防止の観点から中止せざるを得ない状況にあり、事業の内容等、新たな展開を模索する必要を強く感じた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) コロナ禍の状況下において、実施可能な事業の選択をし、実施方法等を検討しながら市青少年育成センターを中心に、青少年教育関係諸団体との連携を図り、活動していく。 (2) インターネット犯罪に巻き込まれるケースや、インターネット関連のいじめ等の犯罪割合が急激に増え、また、コンビニエンスストア等では、成人向け雑誌の自主的な取り扱い中止など、青少年犯罪の背景が大きく変化している情勢にあつて、現状に合った活動を模索していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	1 豊かな心と健やかな体を育む 6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進 芸術文化に触れる機会の充実 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	市民の芸術文化に対する資質向上と、芸術文化に携わる取り組みの推進
事業内容	多くの市民が優れた芸術文化に触れるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	16,607	補正額等	0	合計	16,607	決算額	592
31	当初予算額	15,973	補正額等	130	合計	16,103	決算額	16,058

4. 事業の実施状況

[中止はいずれも新型コロナウイルス感染拡大防止が理由]

(1) 市民文化会館自主事業
① 第9回悠久の里慈恩寺コンサート/中止 [参考:令和元年8月24日(土)「日野皓正クインテット 夜空に響くトランペット」入場者600名]
② 幼児演劇教室/中止 [参考:令和元年10月18日(金)劇団トマト座ミュージカル「ピノッキオの冒険」入場者639名(幼稚園、保育所4歳以上)]
③ 若者向け音楽イベント「SAGAE MUSIC DAY'20」/中止 [参考:令和元年11月23日(土)「SAGAE MUSIC DAY'19」入場者901名]
④ 文化公演/中止 [参考:令和2年1月11日(土)新春!爆笑ライブin寒河江 入場者517名]
(2) 実行委員会、市民文化団体への支援
① 県美展寒河江移動展(県美展寒河江移動展実行委員会主催)/中止 [参考:令和元年10月2日(水)~7日(月)入場者591名]
② 第52回寒河江市総合文化祭(市芸術文化協議会主催)/展示部門のみ実施 令和2年10月27日(火)~11月3日(火)入場者364名 [参考:令和元年10月13日(日)~12月8日(日)発表会の11月3日(日)の入場者500名]
③ 第23回寒河江市音楽祭「春を呼ぶコンサート」/中止 [参考:第22回寒河江市音楽祭「春を呼ぶコンサート」も中止]
(3) 山形交響楽団に対する支援(県内他自治体とともに山形交響楽協会へ負担金を交付して活動を支援)
(4) 舞台づくり支援事業(舞台発表のレベル向上及び独創的かつ継続的な公演活動を支援)
① 演奏力等向上支援事業 0回 [参考:令和元年度 高校2回 社会教育関係団体4回]
② 発表会活動支援事業 高校1回 社会教育関係団体1回 [参考:令和元年度 高校2回 社会教育関係団体3回]

5. 事業の評価

(1) 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画した事業の多くを中止せざるを得ない状況であった。中には、実施の方向で準備を進めたが、途中で中止に切り替えなければならない事業もあり、大変残念であった。
(2) このような状況下で、市総合文化祭については規模を縮小し展示部門のみの発表とはなったが開催できたことは、芸術文化活動に取り組む市民の制作意欲の維持に有益であったと感じられる。また、来場者からは、鑑賞できたことに対する喜びの声が聞かれ、関係者にとって今後に対する大きな励みとなった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度については止むを得ず事業を中止しなければならない状況だった。令和3年度は感染防止対策を徹底し、実施可能な範囲の中で工夫して事業開催を図っていく。 (2) 「市総合文化祭」や「市音楽祭」等の各芸術文化団体が主催者として実施する事業や、高校・社会教育関係団体の活動の支援を継続し、芸術文化活動の継続・活性化を推進する。 (3) 来場者のアンケートを充実し、より市民の要望に添った内容の自主事業の開催に向け活用していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	美術館運営事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費
教育振興計	6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進 芸術文化に触れる機会の充実		

2. 事業の概要

事業目的	優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、市美術館をとおして中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。
事業内容	(1)常設展示のほか、「市民ギャラリー」で特別企画展や企画展を行い、ワークショップなどの体験企画も実施する。 (2)親しまれる美術館を目指して、施設整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	6,860	補正額等	0	合計	6,860	決算額	4,644
31	当初予算額	6,078	補正額等	0	合計	6,078	決算額	5,362

4. 事業の実施状況

(1) 特別企画展として、社会福祉施設関係者等が実行委員会を組織し「アートツリーやまがたvol.9」を実施した。 期間等/令和3年2月6日(土)~3月1日(月) 入場者642名 [参考:令和2年2月8日(土)~3月2日(月) 入場者590名] 内容/社会福祉施設利用者や若手作家の作品展示(新型コロナウイルス感染防止のためワークショップは中止)
(2) 次の展示を実施し、芸術作品に触れる機会を提供した。 ① 企画展・若手作家「いぬまる ぜの展」/令和2年8月1日(土)~30日(日) 来場者702名 ② 埋蔵文化財フェア/令和2年9月3日(木)~16日(水) 来場者271名 ③ 慈恩寺絵画コンクール/令和2年9月25日(金)~10月13日(火) 来場者210名 ④ 市総合文化祭(作品展示)/令和2年10月27日(火)~11月3日(火) 来場者132名 ⑤ 企画展・市美術館所蔵作品展/令和2年11月13日(金)~12月2日(水) 来場者131名 ⑥ 企画展・市美術館所蔵作品展<冬>/令和2年12月10日(木)~令和3年1月19日(火) 来場者334名 [参考:令和元年度展示内容/① 鬼海弘雄 写真展「PERSONA」 来場者2,626名、② 若手作家 桶本理麗展 来場者379名、 ③ 若手作家 八頭こほり展 来場者378名、④ 郷間正観 書画作品展 来場者300名、 ⑤ 市総合文化祭(作品展示) 来場者155名、⑥ 慈恩寺絵画コンクール 来場者222名]

5. 事業の評価

(1) 来館者に対し、新型コロナウイルス感染防止対策への協力を十分に依頼して、各展示事業を実施した。 (2) 「アートツリーやまがたvol.9」では、今年度も障がい者のユニークな感性や、各作者の独創的で個性的な陶芸や絵画、人形などの作品が多数展示され、来場者の目を楽ませることができた。 (3) 企画展・若手作家「いぬまる ぜの展」では、イラストや写真、工作など、本市在住のいぬまるさんの作品を市内外の多くの方に観ていただくことができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 実行委員会を組織して実施する特別企画展の開催増を目指し、展示環境の整備に対する協力など、企画展等が実施しやすい環境づくりに努める。 (2) 寒河江市出身作家や山形県在住作家の企画展の増加・充実に引き続き取り組む。 (3) 市民ギャラリーの使用料免除規定のPRなど「寒河江市美術館企画展事業実施要綱」の周知に努め、高いレベルの美術作品展示機会の増加を図る。 (4) 台帳整理や作品保管庫の環境整備などに継続して取り組んでいく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館活動事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費
教育振興計	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進		

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や芸術文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動と公民館活動を推進する。
事業内容	(1)各地区公民館と分館、地域団体が連携しながら、自主的な学習活動や研修会等の地域づくり活動を支援していく。 (2)中央公民館では、歌を通して豊かな心を育む寒河江市少年少女合唱団の育成を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	4,421	補正額等	0	合計	4,421	決算額	3,302
31	当初予算額	4,257	補正額等	0	合計	4,257	決算額	3,950

4. 事業の実施状況

<p>生涯学習活動や地域活動の拠点として豊かな人づくりのほか、地域に親しまれる公民館を目指し各種事業が計画されたが、コロナ禍による中止が多かった。</p> <p>① 分館活動／市内61分館の分館長や分館主事を中心に、各地域で特色ある分館活動が計画されていたが、新型コロナウイルス感染防止のため、中止や規模縮小となる事業が多かった。</p> <p>② 生涯学習活動推進員／16名の推進員が芸術文化事業の運営に協力予定だったが、新型コロナウイルス感染防止により事業を中止とした。</p> <p>③ 学びのふるさと推進事業 (ア) 地域塾事業(分館と地区公民館が連携し実施する複数回の学習会)／元町分館で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。 (イ) 分館連携事業(分館と地区公民館が連携し地域力向上等を図る事業)／本楯分館(六供町分館、落衣分館、宮内分館は中止) (ウ) 慈恩寺絵画コンクール／応募数:51点 [参考:令和元年度応募数:71点] (エ) 市公民館大会／新型コロナウイルス感染防止のため大会自体は中止したが、研修資料をまとめ分館関係者へ郵送配布した。</p> <p>④ 市少年少女合唱団の育成／小学生から高校生までの団員21名で構成し、市内外の演奏会出演や施設訪問を予定したが、新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの事業が実施できなかった。[参考:令和元年度団員:24名]</p> <p>⑤ 運営審議会・運営会議 公民館における事業内容や事業計画について意見を聞き、事業の企画実施に取り組んだ。 (ア) 中央公民館運営審議会 / 8名・年1回 [参考:令和元年度8名・年1回] (イ) 東部地区公民館運営会議 / 16名・年1回 [参考:令和元年度16名・年1回] (ウ) 南部地区公民館運営会議 / 9名・年1回 [参考:令和元年度10名・年2回] (エ) 柴橋地区公民館運営会議 / 14名・年1回 [参考:令和元年度13名・年1回] (オ) 西部地区公民館運営会議 / 17名・年1回 [参考:令和元年度19名・年1回]</p>
--

5. 事業の評価

<p>(1) 新型コロナウイルス感染防止のため、各地区の文化祭や各分館の子ども会事業は、ほとんどが中止された。</p> <p>(2) 市少年少女合唱団は、コロナ禍により中止を余儀なくされる事業が多い中、感染防止を図りながら練習し、県合唱祭でステージ発表し美しい歌声を会場いっぱいに響かせた。また、例年同様に高齢者施設でのクリスマスコンサートを企画したが開催できなかったため、演奏をビデオに収め各高齢者施設へ贈呈したところとても喜ばれた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 各地区公民館は広報活動による情報の提供及び収集を継続し、分館及び地域団体と連携しながら地域コミュニティの活性化による活力ある地域づくりを支援していく。</p> <p>(2) 中央公民館は、市少年少女合唱団の運営補助及び新規団員募集を随時呼びかけ、また、市公民館連絡協議会や子ども会育成連合会等、全市的団体の活動を支援していく。</p> <p>(3) 柴橋地区公民館についてはコミュニティセンター事業(レクリエーション大会、文化祭等)と地区公民館事業(分館、子育て関係事業等)を整理し、コミュニティセンター事業の自主的な運営を支援していく。</p> <p>(4) 感染防止対策の徹底や事業内容、募集人数など“With コロナ”における実施方法を工夫・研究し、可能な範囲で事業を実施していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計画	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進 生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 10 生涯学習推進費

2. 事業の概要

事業目的	放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。
事業内容	寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の小学校児童を対象に教室を開催。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	1,438	補正額等	合計	1,438	決算額	354
31	当初予算額	1,441	補正額等	合計	1,441	決算額	1,264

4. 事業の実施状況

<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、事業の中止又は規模縮小を余儀なくされる中、3教室(3~5日間)を開催した。 【内容】ニュースポーツ教室等のスポーツ体験、絵はがき教室、おもちゃ作り、リースづくりなどの図画工作活動、また時流を反映した手洗い学習等、その他様々な活動を実施した。 【参加人数等】 ・コーディネーター 3名(前年度比2名減) 協働活動支援員・サポーター 19名(前年度比 26名減) ・参加者総数 46名(前年度比 225名減) (参加者内訳) 寒河江小・西根小・三泉小:実施なし 寒河江中部小:実施なし 南部小 24名(前年度比 5名減)、柴橋小 11名(前年度比 20名減)、 高松小・醍醐小・白岩小・幸生小 11名(前年度比 20名減)</p>
--

5. 事業の評価

<p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の制約の中、事業の実施が大変に難しかった。 (2) そのような中でも実施した教室においては、事業内容に工夫をこらし、学年間の交流、地域の方々との交流が図られ、充実した教室を展開することができた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 子ども達の社会性を高めるため、地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を盛り込み、放課後児童クラブとも連携しながら事業を行っていく。 (2) 指導員の後継者の確保に努め、教室の運営体制の充実を図っていく。 (3) 本事業を通して、子ども達の地域活動への参加が促進される流れを作っていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館整備事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	地域のコミュニティの核である地区公民館分館の整備を支援し、機能充実を図ることで更なる地域力の向上を目指す。
事業内容	(1) 分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。 (2) 平成28年度から新たに修繕及び設備の整備(エアコン設置・照明のLED化)を、補助の対象としている。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	27,517	補正額等	2,016	合計	29,533	決算額	27,866
31	当初予算額	3,547	補正額等		合計	3,547	決算額	3,413

4. 事業の実施状況

(1) コミュニティ助成事業費補助金

- (一財) 自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金を受け、西部地区公民館楯分館の改築工事を支援した。
 - 楯分館新築工事
事業費 27,286,014円 建物面積 138.0㎡ 完成年月日 令和3年2月28日 補助金額 15,000,000円

(2) 公民館整備事業補助金

- 道生分館耐震補強工事
事業費 2,662,000円 面積等 完成年月日 令和2年8月7日 補助金額 1,774,000円
- 落衣分館改修工事(雨どい補修及び非常階段、壁面・屋根塗装等)
事業費 1,457,500円 面積等 完成年月日 令和2年5月31日 補助金額 485,000円

他、14分館 事業件数 15件 補助総額 27,886,000円

- 事業内訳(延べ件数)
 - 耐震補強工事 1件
 - エアコン設置工事 8件
 - 屋根等塗装工事 4件
 - 照明LED化工事 3件
 - バリアフリー化(洋式トイレ)工事、畳替え工事、備品購入 各 1件

(令和元年度整備件数 9分館(9件) 事業費 14,246千円)

5. 事業の評価

17分館において整備が図られ、地域活動の活性化に繋がった。
うち、楯分館はコミュニティ助成事業助成金を活用しての新築である。
耐震強度不足の分館の内、令和2年度に道生分館が補強工事完了、楯分館が改築(新築)されたため、耐震補強未対応分館は4分館(本楯・陣ヶ峯・元町・宝)となり、各分館において対応が検討されている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 各分館に対して、分館の整備に係る意向調査を行い、事業を進めていく。 (2) 分館の耐震化について、地域におけるコミュニティ活動等の拠点施設として安心安全を確保するため、引き続き推進していく。 (R3予算 9,191千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	寒河江さくらんぼ大学推進事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費
教育振興計画	1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進 生涯を通じた学習機会の充実 共に学び合う体制づくり		

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習と交流の場として、中央・地区公民館をつないだ誰もが自己実現のため生き活きと学び、学びを通じた触れ合いで人と人がつながり、学びの成果が地域で輝き、まちを育てるための「市民大学」を開設する。
事業内容	(1)中央公民館と4つの地区公民館をキャンパスとした講座を実施する。 (2)講師は著名人や地域で活躍する方などを幅広く選定する。 (3)講座の実施に当たっては、受講生による運営委員が主となり自主的な運営を進めていく。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	2,702	補正額等	0	合計	2,702	決算額	0
31	当初予算額	3,001	補正額等	0	合計	3,001	決算額	2,423

4. 事業の実施状況

中央公民館と4地区公民館をキャンパスに見立て、5キャンパス、6学部1大学院で講座を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全面中止とした。

◎ 参考:令和元年度の状況

- (1) 開講式・公開講座/令和元年7月6日(土) 作家・評論家の川本三郎氏による講演「『男はつらいよ』を旅する」 受講生198名
- (2) 中央キャンパス(中央公民館)
 - ① 大学院「慈恩寺の歴史専攻科」:令和元年7月26日(金)～10月18日(金)の全4回講座。慈恩寺と寒河江西村山・大江氏の歴史講義、慈恩寺旧境内の探索、研究発表。受講生延べ44名
 - ② 生き生き元気学部:令和元年7月24日(水)～11月8日(金)の全4回講座。ラフターヨガ、藤沢周平の故郷を訪ねる現地研修、音楽、筆ペン実技。受講生延べ151名
 - ③ 歴史学部:令和元年9月4日(水)～11月27日(水)の全4回講座。高瀬山における1万8千年前の暮らし、最上川の船着き場、間沢金山の現地研修、舟運と民衆信仰。受講生延べ226名
- (3) 東部キャンパス(東部地区公民館)

アクション攻学部:令和元年9月8日(日)～11月29日(金)の全4回講座。イタリア石窯で焼く本格ピザ作り、紅葉を愛でる月山尾根渡り、空き家リノベーションで地方創生、和太鼓の技と魂。受講生延べ103名
- (4) 南部キャンパス(南部地区公民館)

ワッショイやまがた創造学部:令和元年8月10日(土)～11月23日(土)の全4回講座。映像に見る山形史、山形の観光最前線、山形こけし絵付けに挑戦、トリオ・アラモーレの生演奏。受講生延べ118名
- (5) 柴橋キャンパス(柴橋地区公民館)

ふるさと匠の技学部:令和元年7月28日(日)～10月19日(土)の全4回講座。獅子頭と手打ち蕎麦、組子の世界、組子コースター作り、アケビのつる細工に挑戦。受講生延べ121名
- (6) 西部キャンパス(西部地区公民館)

地域発見学部:令和元年8月3日(土)～12月7日(土)の全4回講座。佐藤織維(株)工場見学、白岩の絵馬、豆腐作り体験、蓮細工体験。受講生延べ102名

5. 事業の評価

令和2年度は、開講に向け受講者からなる運営委員会での協議や講師の依頼等準備を進めていたが、受講者募集開始時期に新型コロナウイルスに係る全国的な非常事態宣言が発表され、感染拡大防止のため止むを得ず、全て中止とした。途中で中止と判断しなければならぬのは大変残念で、また開催に関する問い合わせ等もしばしば寄せられ、継続的な受講者の学習意欲の高さが伺えた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 令和2年度は全面中止とせざるを得なかったが、感染防止対策の徹底や講座内容、募集人数など“With コロナ”における開催方法を工夫・研究し、可能な範囲で講座を開催していく。 (2) 今後も慈恩寺について、高度に専門的に学ぶ「大学院」を継続して開設する。 (3) 「自分たちがつくる講座」を目指し、運営委員会を中心とした自主的運営を一層推進するとともに、若者から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした魅力ある講座を企画し、仲間づくりの輪を広げる。 (4) 今後も知名度のある講師を招いた「公開講座」を実施し、さくらんぼ大学の魅力向上を図りながら新規受講生の掘り起こしに務める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書の盛んな学校づくり事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計 画	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成		1 教育総務費
			3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	読書の盛んな学校づくりの推進を図り、読書好きな子どもを育成する。
事業内容	(1) 読書活動推進員を学校に配置し、学校における読書環境の整備を行うとともに、読み聞かせやブックトーク等の実践により国語科の授業を充実させる。 (2) 「図書館管理システム」を有効に活用することにより、児童生徒の読書環境の充実を図る。 (3) 読書活動推進会議を開催し、読書活動推進員並びに市立図書館との連携を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	7,417	補正額等		合計	7,417	決算額	7,219
31	当初予算額	5,696	補正額等		合計	5,696	決算額	5,359

4. 事業の実施状況

(1) 読書活動推進員の配置	
① 配置人数	5名
② 配置校	寒河江小・西根小 寒河江中部小・三泉小 南部小・柴橋小・陵南中 醍醐小・高松小・陵東中 白岩小・幸生小・陵西中
③ 業務内容	児童生徒への読書指導及び図書選定の助言、図書室の整備、学習支援 その他児童生徒の読書活動推進のための業務(読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトル、読書推進講座)
④ 勤務体制	年間200日程度、各小学校に曜日ごとに2~3日の勤務、中学校は、週1日の勤務
(2) 読書環境の整備	
① 図書館管理システムのサポート業務の委託	除籍・廃棄作業
(3) 読書活動推進会議の開催	(7月:市立図書館)

5. 事業の評価

読書活動推進会議を開催し、市内各小・中学校の読書推進活動の内容を共有したり、市立図書館との連携を図ったりすることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 読書活動推進業務と事務補助業務を兼務する「教育活動補助員」を12校に1名ずつ配置する。 このことにより、各校に週1~3日しかいなかった読書活動推進に係る補助員を年間を通して配置し、市内各学校の読書活動の推進を図る。 (2) 教育活動補助員の会議を定期的で開催し、各校の読書活動や事務補助に係る業務の情報交換を行い、基本的な業務内容の共通理解を図る。 (R3予算 25,164千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	図書館管理運営事業	所管課・係	生涯学習課 図書館・業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	項	4 社会教育費
		目	5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	図書館の機能充実と良好な環境の維持を図るため、施設の保守管理や修繕等を行い、利用者の利便性の向上を図る。
事業内容	(1) 図書館機能の充実と施設の適切な維持管理を行うため、空調機器保守点検、清掃や機械警備を業務委託する。 (2) 経年劣化に伴う施設設備の整備、修繕を計画的に行う。 (3) 更なる読書環境の充実のため、市民のニーズに的確に対応する管理運営を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	30,371	補正額等	1,485	合計	31,856	決算額	28,427
31	当初予算額	24,633	補正額等	△ 11	合計	24,622	決算額	23,223

4. 事業の実施状況

<p>(1) 保守点検、管理運営業務等</p> <p>① 業務委託：設備管理、機械警備、館内清掃、冷暖房設備保守、自動ドア保守、エレベーター保守、コンピューター保守、外 ② 賃借：図書館情報システム、駐車場、館内BGM、外</p> <p>(2) 工事、修繕等</p> <p>会議室の窓枠改修工事や、省電力化のための開架室の照明器具のLED化改修工事を行った。 屋根軒先雪止め交換や消防設備(消火ポンプ)、雨漏り箇所等の修繕を行った。</p> <p>(3) 利用状況</p> <p>① 入館者数 66,871人(40,931人減) ② 貸出者数 26,987人(10,985人減) ③ 貸出登録者数 13,848人(468人増) ④ 貸出冊数 119,583冊(32,969冊減) ⑤ 開館日数 291日(35日減)</p>
--

5. 事業の評価

<p>(1) 開架室照明のLED化による施設維持費の低減化や、Wi-Fi環境の整備、会議室の窓枠改修など、利用しやすく快適な読書環境の整備・提供を図った。</p> <p>(2) 消防設備(消火ポンプ)や雨漏り、屋上雪止め等の危険箇所を修繕し、施設の安全維持に努めた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 図書館施設の適切な管理運営に努め、安全で快適な環境の維持により、利用者サービスの向上を図る。 (2) 支援を必要とする方や中学・高校生の入館者など多様な館内利用に対応し、貸出者、貸出冊数の増加を図る。 (3) 館内照明のLED化を継続するとともに建築物劣化度調査を実施し、今後の施設維持を見据えた改修工事等を計画する。 (4) 生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも快適に利用できる図書館づくりをさらに推進する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	図書資料等購入事業	所管課・係	生涯学習課 図書館・業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	項	4 社会教育費
		目	5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	公立図書館に備えておくべき蔵書の整備を基本とし、図書資料等の充実を図る。
事業内容	(1) 一般図書、児童図書、視聴覚資料(DVD等)、雑誌等について、「図書館資料選定要領」に基づき、計画的に購入する。 (2) 図書館の特色や、利用者のニーズに対応しながら、蔵書の整備を進める。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	9,230	補正額等		合計	9,230	決算額	8,969
31	当初予算額	9,175	補正額等	11	合計	9,186	決算額	9,182

4. 事業の実施状況

(1) 図書館蔵書状況(令和3年3月末)				
① 一般書	105,537冊(前年度比)	1,168冊増	「購入冊数	2,904冊
② 児童書	31,990冊(前年度比)	944冊増	「購入冊数	998冊
③ 視聴覚資料(音響・映像)	2,712点(前年度比)	7点増	「購入点数	21点
④ 雑誌等	3,607冊(前年度比)	861冊増	「購入冊数	859冊

5. 事業の評価

(1) 乳幼児期からの読書習慣を涵養するため、ブックスタート絵本の継続購入や、児童書、おはなし会用の大型絵本、紙芝居等の蔵書充実を図った。
(2) 図書館に備えるべき図書資料等の整備を基本とし、更に、ニーズの高い新刊図書資料の整備に適時に応え、また、障がい者向け図書、英訳図書等の充実を図り、より多様な蔵書の提供を行った。
(3) 前年度に続き、市内小中学校の担当教諭、読書活動推進員、ALT、AETと連携し、学習や読書活動に必要な図書資料を購入し、各学校における教科学習や特別活動での活用を図った。(外国語図書は、ALTが「外国語」で活用)

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 各世代の利用者ニーズを的確に把握し、図書資料を継続的に購入していく。 (2) 引き続き点字図書、CD、LLブック等の視覚・聴覚障がい者向け図書、バイリンガル図書、英訳図書等の多様なニーズに対応する図書資料の整備充実を図っていく。 (3) 小中学生の学習に資する図書資料を整備するとともに団体貸出を図り、児童・生徒の利用拡大を目指す。 (4) 郷土に根ざした図書館を目指し、慈恩寺、さくらんぼ、大江公に関する図書資料の充実に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書普及事業	所管課・係	生涯学習課 図書館・業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援		4 社会教育費
			5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	読書への興味と関心を促すため、読書機会の提供と啓発に努め、魅力ある図書館づくりを進める。
事業内容	読書推進団体との連携を深め、図書館自主事業や図書推薦コーナー等を継続的に実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	2,928	補正額等	合計	2,928	決算額	968
31	当初予算額	2,640	補正額等	合計	2,640	決算額	2,492

4. 事業の実施状況

(1) 定例事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 図書館ボランティアグループ(4団体)による「おはなし会」の開催(コロナ禍により大半は中止を余儀なくされた) ② 子どもに読ませたい本のコーナーの設置(通年) ③「ブックテーマコーナー」「ミニブックテーマコーナー」の設置(通年) ④「最新新刊書コーナー」「ティーンズコーナー」及び「障がい者図書」「多言語図書」の充実 ⑤ 新入生及び未登録児童の一斉登録事業の実施(126名 前年度比 51名減) ⑥ 市子育て推進課、健康福祉課との連携で「ブックスタート事業」を配本のみで実施(12回 前年度比増減なし) ⑦ 乳幼児と保護者を対象とした「絵本の部屋」を図書館において開催(6回 コロナ禍により前年度比 18回減) ⑧ 展示ホールを活用した多様な展示会等を開催(出展件数 16件 前年度比増減なし)
(2) 図書館自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 「くすくす人形劇公演」の開催(9月17日 196名 10月29日 162名 市内年長児対象(前年度比 10名減)) ② 図書館まつり「秋まつり」(例年夏と冬の開催を統合)、並びに「シリーズ山形の文学を探る」の開催(合計 177名参加) <ul style="list-style-type: none"> ・朗読会(11月3日 14:00～) ・山形の文学を探る ①「寒河江の文人あれこれ」(11月5日 14:00～) 講師:市史編纂専門員 中山 秀子 氏 ②「郷土に伝わる奇しき物語」(11月23日 15:00～) 講師:怪談作家 黒木 あるじ 氏 (延べ 51名参加 前年度比 19名減) ・中高生向け特別企画「秋のタベ～ゾクゾク怪談会」(11月23日 17:30～) 語り:怪談作家 黒木 あるじ 氏 ・ピプリオバトル:小学生の部(11月8日 10:00～)、中学生の部(11月8日 14:00～)、高校生の部(11月15日 14:00～) ③ 十二神将しおりプレゼントキャンペーンを1月末から2月にかけて実施 ④ 安孫子荻聲ギャラリー常設展示 ● コロナ禍による延期・中止等事業: ① 第50回記念「さくらぼの都市(まち)さがえ全国俳句大会」(翌年に延期) ② 読書講演会「室井滋・長谷川義史の絵本ライブ」(中止) ③ 「さがえ図書館まつり2019 夏まつり」(中止) ④ 東北芸術工科大学とのコラボレーション企画(大学側の受け入れ不可能、中止)

5. 事業の評価

コロナ感染予防対策として、4月から5月中旬まで臨時休館(開館日数:前年比89パーセント)、開館時には館内滞在時間を1時間(ほぼ年間通して)を遵守する中で、図書館自主事業の内容改善に取り組み、読書への興味を呼び起こし、読書習慣の涵養を図った。

①「ピプリオバトル」に中学・高校の部を新設 ② 人形劇公演(2回に分けて実施) ③ 図書館まつり等における若者向けのイベントの開催(参加人数を限定し、数回に分けた) ④ 十二神将キャラクターしおりプレゼント

結果として、11月と2月の貸出冊数を前年度比 98パーセントまで戻した。(年間トータルは、前年度比 78パーセント)また、19歳から22歳までの貸出冊数が前年度比 153パーセントと増加した。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>○ コロナ感染症対策を取りながら各年代に応じた事業を行う。</p> <p>(1) 読書講演会「絵本ライブ」を再び目玉事業として実施し、子どもから大人まで幅広い層を対象に読書機会の提供を図る。</p> <p>(2) 「シリーズ山形の文学を探る」は、東北芸術工科大学の協力を得て、若者を対象とした新しい内容で実施する。</p> <p>(3) 読書離れが進んでいる小・中学生を対象とした読書イベントを実施する。</p> <p>Ex. 「ピプリオバトル」、「図書館を使った調べ学習」、「チェリンや十二神将のキャラクター活用」</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ振興事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、いきいきと学び続ける取組を推進する。	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進		5 保健体育費
	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進 スポーツを通じた地域活性化の推進		1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	(1)指定管理者や各スポーツ団体と連携し、更に支援を行いながら、年間を通じた体育施設の利用促進による多様なスポーツの振興を図る。 (2)ライフステージやニーズに応じた生涯スポーツの振興を図るため、各種大会・教室等を開催及び支援する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	8,602	補正額等		合計	8,602	決算額	7,018
31	当初予算額	5,312	補正額等		合計	5,312	決算額	5,159

※3月に778千円を一般会計に戻入

4. 事業の実施状況

<p>市スポーツ推進委員との連携、(一社)寒河江市体育協会への事業委託等により、多彩なスポーツ教室や講座等を開催し、多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供することを目的としたが、コロナ禍により多くの事業や活動等の制限を余儀なくされた。また、各種スポーツ大会の開催や競技力向上に係る支援等についても、限定的なものとなった。</p> <p>(1)生涯スポーツ推進事業</p> <p>①市スポーツレクリエーション祭 ※一部縮小分散開催(1回 390名) (H31: 586名/ H30: 471名/ H29: 508名)</p> <p>②市民スキー教室 ※事業中止(参加予定者56名※受講者のみ) (H31: 114名/ H30: 87名/ H29: 97名)</p> <p>③ちびっこスポーツ教室 (20回,534名) (H31: 20回,503名/ H30: 20回,477名/ H29: 10回,265名)</p> <p>④ジュニアスポーツ教室 (20回,597名) (H31: 20回,366名/ H30: 20回,379名/ H29: 10回,223名)</p> <p>⑤成人スポーツ講座関連(ゴルフ教室)(20回,289) (H31: 20回,353名) ※別メニュー(H30:8回,42名/ H29:8回,65名)</p> <p>(2)ニュースポーツ出前事業(教室) (2回,3種目,39名) (H31: 6回,7種目,390名/ H30: 5回,5種目,347名/ H29: 6回,6種目,378名)</p> <p>(3)スポーツ少年団育成事業(指導者,育成母集団研修会) ※事業中止 (H31: 1回,69名/ H30: 50名/ H29: 70名)</p> <p>(4)市体育協会育成事業(表彰・激励事業、※講演会事業(中止)、モンテディオ山形支援事業、スポーツ少年団活動等支援事業他)</p> <p>(5)※さくらんぼマラソン大会事業 →H31～地域スポーツ活性化推進事業に整理し掲載</p>
--

5. 事業の評価

<p>(1)生涯スポーツ推進事業等については(一社)寒河江市体育協会が、ニュースポーツ出前教室等については寒河江市スポーツ推進委員会が主に担当し、それぞれの組織の持ち味を活かした活動を制限を受けながらも継続実施した。</p> <p>(2)市民がスポーツに親しむ機会を数多く提供することで、市民のスポーツ習慣の定着とスポーツ人口の拡大を図ろうとしたが、事業中止や施設の利用制限等により十分な事業効果には至らなかった。</p> <p>(3)各種スポーツ大会等の開催を通じ、競技力の向上と指導者等の育成を図ろうとしたが、様々な制限下、十分な事業効果には至らなかった。</p> <p>(4)コロナ禍の影響下、様々な制限を受けながらも感染状況を踏まえた事業を実施した。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	感染症対策等も踏まえ、(一社)寒河江市体育協会ほか関係組織との連携を深め、市民が気軽にスポーツに親しめる事業を中心に、コロナ禍の下での新しい生活様式や新たなニーズにも対応しながら、地域の生涯スポーツを推進する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	体育施設整備事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進 スポーツ環境の整備と充実	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	安全、快適で利用しやすい体育施設の整備を図る。
事業内容	(1)市民体育館等の利用環境を適正に維持するため、施設の改修等を計画的に行う。 (2)日常点検や専門業者の定期保守点検により、施設設備に起因する事故防止及び不具合等の早期発見に繋げる。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	22,500	補正額等	0	合計	22,500	決算額	21,362
31	当初予算額	500	補正額等	5,166	合計	5,666	決算額	4,807

4. 事業の実施状況

体育施設整備について、次の工事・修繕等を実施した。	
① 市民体育館ボイラー等更新工事	20,900,000 円
② 屋内多目的運動場屋根雨漏り修繕	462,000 円

5. 事業の評価

(1)市民体育館等の適正な管理運営のため、施設の修繕等を迅速かつ計画的に行ったことにより、(特にボイラー周辺機器の更新により)安全・快適に利用された。
(2)屋内多目的運動場の整備について、指定管理者の小規模修繕との調整を行い優先度の高いものを実施し、快適な環境の提供に繋がった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	体育施設の良い利用環境を維持するため、施設の日常管理を適正に行いながら計画的整備を進めていく。更に、市全体の個別施設(維持管理)計画との整合を図りながら、小規模改修等については独自計画による効率的整備に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	地域スポーツ活性化推進事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進		5 保健体育費
	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進 スポーツを通じた地域活性化の推進		1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	特色ある施設環境等を生かし、スポーツを通じた交流拡大と地域活性化を図る。
事業内容	(1)スポーツツーリズム関連事業として、さくらんぼマラソン大会、トライアスロン大会等を開催し、交流人口の拡大と地域活性化に繋げる。 (2)スポーツ競技力向上に係る支援事業として、全国大会等出場者への激励事業等を行う。 (3)東京2020を契機とし、市民のスポーツ実施率の向上と障がい者スポーツの振興等に繋げる。(ツーリズム関連事業)

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	39,518	補正額等	△ 18,862	合計	20,656	決算額	10,157
31	当初予算額	21,661	補正額等	800	合計	22,461	決算額	21,954

※更に3月に6,200千円を一般会計に戻入

4. 事業の実施状況

東京2020(オリ・パラ)を契機とした各種事業を市民のスポーツ実施率の向上等に繋げ、スポーツツーリズムと関連付けた各種大会等を開催することによる交流拡大(障がい者スポーツ・オリパラ関連を含む)と地域活性化を図る事業目的に対し、コロナ禍による中止・縮小に伴う大幅な減額補正と事業組替等を余儀なくされたが、感染対策のもと一部事業や代替事業を行った。また、全国大会等出場者への激励事業を実施し、更なる競技力向上と指導者育成に向けた事業を小規模ながら継続実施した。

(1)さくらんぼマラソン大会負担金 15,000千円⇒3,500千円※更に△1,500千円 (H31: 12,800千円/H30: 10,000千円)
◎ 大会中止 (参加者 H31: 2,819名 /H30: 2,692名 /H29: 2,242名)

(2)トライアスロン大会負担金 2,000千円 ⇒400千円 (H31: 1,500千円 /H30: 1,000千円)
◎ 大会中止 (参加者 H31: 157名 / H30: 69名)

(3)オリ・パラPR(障がい者スポーツ含む) 交流等事業負担金 16,800千円⇒11,500千円※更に△4,700千円
(H31は:3,000千円 /H30はパラリンピアン交流事業等にて一部実施)
(ツーリズム関連 : ツールドさくらんぼ、ストライダーエンジョイカップ、スポーツフェスティバル(オリパラ応援プログラム)他)
(オリ・パラ関連:オリ聖火リレー・パラ聖火採火事業負担金、オリパラ関連県実委負担金)

(4)全国大会等出場激励金 (14件)140千円 (※大会中止等に伴う減) (H31:53件/ 610千円・H30: 52件/ 315千円)

(5)スポーツ講演会(体育協会表彰事業関連) ◎ 事業中止(表彰式のみ縮小開催) (参加者 H31: 200名 /H30: 120名)

5. 事業の評価

(1)スポーツツーリズムとした各種スポーツイベントの開催による交流拡大と地域活性化や、東京2020関連事業による機運醸成と市民のスポーツ実施率の向上を目指したが、コロナ禍により、ほとんどの事業の中止や延期を余儀なくされた。その中で、スケートボード教室を規模を縮小して開催し普及を進めた。

(2)競技力向上に関連する取組が、全国大会等の上位大会出場者等の励みとなっており、多彩な競技種目の出場に拡大している。(コロナ禍により交付実績は減少。)

(3)継続的な障がい者スポーツ振興に関連する事業を通じ、障がい者や障がい者スポーツへの理解や交流に繋がっている。新たにボッチャ(パラリンピック種目)の体験教室の出前や、仮設コートの設置及び動画による普及を進め理解の促進に繋がってきている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	延期された東京2020(オリ・パラ)の開催を契機に市民のスポーツ実施率の向上に繋げるため、国県等と連携した聖火リレーほか関連事業を地域特性を活かし実施する。また、スポーツツーリズムによる交流拡大と地域活性化を促進するため、大規模イベント「さくらんぼマラソン大会」やグリバーさがえの環境を活かした「トライアスロン大会」等、各種事業の検証を充分に行い、感染症対策や新たな実施形態などの観点を加えながら、事業内容を更に高めていく。(令和3年度当初予算 26,708千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	さがえっこ育み推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の醸成 2 命や生き方を大切にする教育の推進 学校・家庭・地域が連携したいのちと生き方を考える教育の推進 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成 4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 5 心を育む読書活動の推進 自主的な読書活動の支援	予算科目	款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	子どもたちを育むための指針「さがえっこの育み10か条」を核とし、学校・家庭・地域が連携しながら広くその取り組みを推進し、未来を担う子ども達を健やかに育む。
事業内容	さがえっこ育み推進本部を設置し、事業の周知啓発を行う。また、各小中学校区に学校支援地域本部を設置し、地域で学校を支援する仕組みづくりを行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	7,601	補正額等	合計	7,601	決算額	5,533
31	当初予算額	6,792	補正額等	合計	6,792	決算額	5,305

4. 事業の実施状況

(1) 推進本部の設置 ① 教育長を本部長とし、さがえっこ育み推進本部会議を年2回開催し、事業の推進方策等を検討した。これまで学校、幼稚園・保育所、保護者、地域の代表、関係各課長等を構成員とする本部会議であったが、コミュニティ・スクール導入校や公民館連絡協議会、商工会青年部、体育協会などの代表を加え、コミュニティ・スクールの推進について重点的に話をした。 ② 平成23年度に制定した指針「さがえっこの育み10か条」について、年度始めにリーフレットを6,000部作成し、幼稚園・保育所、小中学校の保護者・教職員、に配布。加えて、のぼり旗35セットを作成し、保育施設、学校等で掲示 ③ 「さがえっこの育み10か条」について、PTA総会時に話をしたり、各公民館に掲示したりするなどの啓発活動を実施 ④ コミュニティ・スクール推進のため、CSマイスターの竹原和泉氏からZOOMを用いて課題等について指導助言をいただいた。 (2) 学校・家庭・地域連携協働 ① 各小中学校に地域学校協働本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進 ※学校支援ボランティアの総数 1,321人 (H31 2,492人) (3) 部活動指導員の配置 ① 部活動指導員を1名、各中学校へ配置し、部活動中の生徒の安全確保とともに、アドバイスによる技術向上につなげた。
--

5. 事業の評価

(1) 「さがえっこの育み10か条」の普及 小中学校では、学校の実態に合わせ、それぞれ、「さがえっこの育み10か条」に関わる取り組みを展開した。リーフレットやポスターを配布し、「さがえっこの育み10か条」が多くの人の目に触れ、浸透してきている。また、市内全ての保育所、幼稚園、子供園等でののぼり旗を設置することでより多くの、人の目の触れ啓発を進めることができた。 (2) 学校・家庭・地域連携協働推進事業についてもすべての小中学校に「地域学校協働本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開した。コロナ禍により例年より活動が縮小したが、協力していただけの方とのつながりを継続し、今後の事業の発展につなげていく。 (3) 部活動指導員が様々な部活で指導をすることで、柔軟な部活動の展開を行うことができ、部活動の活動保証と教員の負担軽減につながった。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 令和3年度は「さがえっこの育み10か条」に係る啓発動画を小中学校から公募し、街角テレビで放映することを通して、児童生徒ならびに保護者の認知度を高めていく。 (2) コミュニティ・スクールの導入校10校に対して地域コーディネーターを配置し、学校運営協議会を中心とした学校家庭地域連携協働活動を推進していく。 (3) 部活動指導員の3名を維持し、各校の実態に応じた対応ができるようにしていく。 (R3予算 12,021千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	特色ある学校づくり推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係									
施策体系	<p>【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の醸成 2 命や生き方を大切にする教育の推進 学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成 4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 5 心を育む読書活動の推進 自主的な読書活動の支援</p> <p>【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 5 キャリア教育の充実 社会的・職業的自立に向けた教育の推進</p> <p>【基本方針4】 ふるさとの誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 1 ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進 地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進 2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 民俗芸能や伝統行事の保護と伝承</p>	予算科目	<table border="1"> <tr> <td>款</td> <td>10</td> <td>教育費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>1</td> <td>教育総務費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>3</td> <td>教育指導援助費</td> </tr> </table>	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導援助費
款	10	教育費										
項	1	教育総務費										
目	3	教育指導援助費										
教育振興計画												

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒がふるさとを知り、学び、体験し、郷土を愛する心を育む教育活動並びにふるさとの未来を担う児童生徒に豊かな心や健やかな体を育む教育活動を支援するため
事業内容	子どもたちの学力や体力・道徳心の向上、基本的な生活習慣の確立など、学校が家庭や地域と連携して取り組む活動や、地域の実態に応じた特色ある教育活動を支援する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	4,200	補正額等	890	合計	5,090	決算額	4,188
31	当初予算額	4,200	補正額等		合計	4,200	決算額	3,460

4. 事業の実施状況

- (1)各学校では、第2次教育振興計画の基本目標に迫るため本事業を活用し、家庭や地域と連携した取組を展開している。豊かな心と健やかな体づくりの学習・・・食育推進活動や子どもの生活リズムの確立を図る活動、読書の盛んな学校づくり活動などふるさとに関わる学習・・・慈恩寺の歴史にまつわる学習、太鼓や田植え踊り、大黒舞などの伝統芸能・文化を生かした学習など
- (2)ベンチャー・マインド事業として、地域の企業の方からお話を聞くなどし、起業家精神を養う活動を行った。
- (3)4年生対象の社会科見学時に利用するバスについて、3密対策として、増便したバスの掛かり増し費用等を補助した。

5. 事業の評価

- (1)各学校では、趣旨に基づいて本事業を有効に活用し、学校における特色ある教育活動や体験的な活動を計画し展開している。
- (2)予算については、適正かつ有効な配分になるように、学校規模や児童生徒数だけでなく、提出された事業計画を十分に精査し、事業の重要度や必要性等を考慮しながら配当を行っている。→CSの導入により活動の経費が必要な学校に配当を増やした。
- (3)ベンチャー・マインド事業については、谷沢梅の栽培から販売までに係り、児童が新たな視点を得るよい機会となった。
- (4)バスかき増し費補助利用は3校(寒河江小、寒河江中部小、柴橋小)

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各学校において、特色ある活動を実施するうえでなくてはならない事業になっている。今後も、“ふるさとに関する学習”や“豊かな心と健やかな体づくり”に関し、より学校独自の活動が展開できるようにしていく。ベンチャー・マインド育成事業の委託が終了したが、特色ある学校づくり支援事業の一環として今後も同様の活動ができるように工夫をしていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育研究推進事業・学力向上推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 主体的な活動ができる力の育成	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費 4 教育研究所費

2. 事業の概要

事業目的	教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。
事業内容	(1)教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。 (2)学力検査や知能検査、学級集団状態調査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	8,335	補正額等	0	合計	8,335	決算額	7,846
31	当初予算額	8,223	補正額等	150	合計	8,373	決算額	7,622

4. 事業の実施状況

<p>(1) 学力検査・知能検査・学級集団実態調査 ①小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:中2以上) ②小2、4、6、中1における知能検査の実施 ③中1～中3における学級集団実態調査の実施(年1回) ④小4、中1における全国学力調査業者テスト(標準学力調査)は、中止 (2) 教育研究所 ①研修部 ②研修会 ③学力向上対策委員会 ④公開研究会 ⑤全体講演会……中止</p>

5. 事業の評価

<p>新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、市教育研究所に係る研修会を全て中止とした。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>児童生徒の英語力を把握するため、教研式NRT学力検査の小6・中1の英語を実施する。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	英語力育成事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興 計画	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 外国語(英語)学習や国際理解教育の推進	予算 科目 目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	各中学校区へのALTの配置や各小学校へのAETの派遣等を行い、市内小学校の外国語活動や中学校の外国語の学習を充実させるとともに、小中連携による系統的な学習を推進し、児童生徒に英語力を身に付けさせる。
事業内容	(1)ALT(3名)、AET(3名)を市内13小中学校に派遣し、小学校の外国語活動や中学校の外国語学習の支援を行う。 (2)1日英語だけで過ごす「English Day」事業を実施する。 (3)英語力の実態把握:中学校第2学年におけるGTEC(英語4技能試験)の実施

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	19,518	補正額等	合計	19,518	決算額	18,855
31	当初予算額	7,804	補正額等	合計	7,804	決算額	5,465

4. 事業の実施状況

<p>(1) ALT3名を市内13の小中学校に学期ごと計画を立てて派遣し、小学校の外国語活動・中学校の英語学習への支援を行った。</p> <p>① ALT派遣回数(のべ回数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 1学期 86回、2学期137回、3学期 69回、計292回 ※ 4・5月は臨時休業に伴い、派遣なし。 (R1 1学期109回、2学期122回、3学期 68回、計299回 ※ 3月は臨時休業に伴い、派遣なし。 ・中学校 1学期 62回、2学期100回、3学期 58回、計220回 ※ 4・5月は臨時休業に伴い、派遣なし。 (R1 1学期 86回、2学期103回、3学期 37回、計226回) ※ 3月は臨時休業に伴い、派遣なし。 <p>② AET派遣回数(のべ回数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 1学期107回、2学期232回、3学期118回、計457回 ※ 4・5月は臨時休業に伴い、派遣なし。 (R1 1学期157回、2学期220回、3学期105回、計482回) ※ 3月は臨時休業に伴い、派遣なし。 <p>③ ALT・AET派遣回数 合計 969回(R1 1007回)</p> <p>(2) 1日英語だけで過ごす「English Day」事業……新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>(3) 中学生の英語力を把握するために、中学校第2学年におけるGTEC(英語4技能試験)の実施し、事前事後の研修会のため、英語教育推進会議(6・2月)を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 6月:中学校第2学年で実施するGTECの事前研修会 講師 ベネッセコーポレーション 一杉氏 ② 10月:GTECの実施(陵東中・陵西中……10月7日、陵南中……10月28日) ③ 2月:GTECの結果をもとにした事後研修会 講師 ベネッセコーポレーション 一杉氏
--

5. 事業の評価

<p>(1)4月1日～5月25日の臨時休業や、市内において新型コロナウイルスの感染者が発生したことによる派遣中止の期間があり、例年通りの派遣ができなかった。</p> <p>(2)中学校第2学年でGTECを実施し、英語の4技能のうち、話す聞く力に課題があることが分かった。2月の事後研修会では、課題の共有と普通の授業において、英語を聞いたり話したりする機会を確保していく重要性について、確認した。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)ALTを2名増員するとともに、各中学校に常駐させ、生徒が英語に触れる機会の拡大を図っていく。</p> <p>(2)10月に、中学2年生を対象とした、GTEC(4技能スコア型試験)の実施。事前研修会、事後研修会(分析)を実施し、生徒の英語力の育成と教師の指導力向上(授業改善)を図る。 (R3予算 28,199千円)</p>

※ ALT=外国語指導助手(外国人) AET=外国語指導支援員(日本人)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育相談事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 教育相談機能の充実	項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	不登校をはじめとする学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。
事業内容	(1)教育相談室に教育相談員を配置し、学校教育や家庭生活全般にわたる相談に対応するとともに、不登校の原因把握に努める。 (2)不登校児童生徒の学校復帰のための適応指導教室「寒陵スクール」を開設する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	5,157	補正額等		合計	5,157	決算額	4,369
31	当初予算額	4,312	補正額等		合計	4,312	決算額	3,981

4. 事業の実施状況

(1) 教育相談室の概要
① 相談員の配置：教育相談員4名(うち、訪問相談員3名)
② 相談の件数： ○学 校 来室相談 46件、電話相談 182件、学校訪問 98件 (延べ) ○保護者 来室相談 83件、電話相談 214件、家庭訪問 222件
(2) 寒陵スクールの概要(教育相談員が運営)
① 在籍児童生徒：計11名(小学生2名、中学生9名)
② 開設日数：208日(勤労青少年ホーム：191日 フローラSAGAE:8日、市立図書館：9日)
③ その他：長期休業中の学習、体験活動(遠足・調理実習・クリスマスリース作り)、個人面談、保護者懇談会を実施

5. 事業の評価

(1) 令和2年度の不登校による年間30日以上欠席者 小学生11名(前年度9名)、中学生36名(前年度40名)
(2) 寒陵スクール在籍児童生徒進路状況 中3(6名)の内、1名は私立高校、4名は霞城学園に進学した。1名は未定。
(3) 寒陵スクールから学校への復帰者 R2年度中に1名(小学生) R3年度になり新たに2名が中学校で通常のクラスに登校できている。
(4) 寒陵スクール・訪問相談では、心に寄り添った相談を通して、本人や保護者の心の安定を図ることができた。 学校・保護者・相談員が情報を共有することで、児童の学校出席につながっていくケースもみられた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)寒陵スクールが、保護者や児童生徒の心の拠り所となるよう、個々の悩みに寄り添っていく。その中で、学校への登校を促すことや、寒陵スクールで自分の生き方を見つめ直すなど、自立を促す取り組みをさらに進めていく。 (2)小学生の不登校児童数が増えていることから、小学校との連携を強化するためにも、教育相談員の増員を行う。 (3)別室登校等を行っている児童生徒も増えていることから、中学校へ教育相談員が出向く機会を増やす。 (4)登校できない児童生徒に対して、訪問支援を拡充できるように調整をしていく。 (R3年度予算 7,659千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学力向上支援員配置事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	個に応じたきめ細やかな学習支援を行い、児童生徒に確かな学力を身につけさせるために、学校の状況に応じて学力向上支援員・特別支援教育補助員を配置し活用する。 重度な障がい等により学習活動上の補助や日常生活上の補助等が特に必要な児童生徒に対して、個に応じたきめ細やかな支援を行うために、当該小中学校に学校生活補助員を配置する。
事業内容	小中学校への学力向上支援員・特別支援教育補助員・学校生活補助員の配置・学力並びに自尊感情の向上に向けた学習・生活上の支援を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	40,572	補正額等		合計	40,572	決算額	33,160
31	当初予算額	32,240	補正額等		合計	32,240	決算額	27,295

4. 事業の実施状況

(1) 配置校	①学力向上支援員 寒河江小(3名)、寒河江中部小(3名)、南部小(1名)、西根小(1名)、柴橋小(2名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(1名)、三泉小(1名)、陵東中(2名)、陵南中(2名)、陵西中(1名) 計 12校 (19名) ②特別支援教育補助員 寒河江小(1名)、寒河江中部小(1名)、南部小(1名)、柴橋小(1名)、三泉小(1名)、陵東中(1名)、陵南中(2名) 計 6校 (8名)
(2) 勤務体制	年間210日程度(授業日)、学校の実情等に応じて4~6時間の勤務

5. 事業の評価

小中学校6校に特別支援教育補助員を配置することで、通常学級において特に個別の支援が必要な児童生徒や特別支援学級に在籍する児童生徒に対する学習・生活上の支援を行うことができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	特別支援学級(肢体)が新設される白岩小学校に特別支援教育補助員を1名配置する(陵東中1名減)。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	障害児通学支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	障がいにより自力通学が困難で、かつ保護者による送迎も困難な児童生徒の学習参加の利便向上と保護者の負担軽減を図る。
事業内容	登校時または下校時のタクシー送迎を市内タクシー会社に委託し、通学支援を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	2,085	補正額等	0	合計	2,085	決算額	960
31	当初予算額	1,482	補正額等	0	合計	1,482	決算額	1,288

4. 事業の実施状況

(1) 実施	登校時または下校時のタクシー送迎による通学支援
(2) 利用状況	小学校: 5校、7名、延べ 548回 (h31 5校8名、延べ1086回) 中学校: 2校、7名、延べ 493回 (h31 1校4名、延べ412回) 合計: 7校、14名、延べ 1041回 (h31 6校12名、延べ1498回)

5. 事業の評価

<p>家庭、学校及びタクシー会社が連携し、個々に応じた支援体制を整えたことで、障がいのある児童生徒の就学の適正化が図られ、保護者の負担軽減に繋がっている。寒河江学園の児童生徒にも利用をしてもらうなど、制度の積極的な利用を図った。また利用の開始時には、保護者と十分な打ち合わせを行い、児童生徒が安心して利用できる環境づくりに努めた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	引き続き、登下校往復での支援が出来る予算を要求していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	さがえっこライフデザインセミナー事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室
施策体系 教育振興計	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 2 命や生き方を大切にする教育の推進 学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進	予算科目	10 教育費
		項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	未来の寒河江を担う「さがえっこ(小中学生)」に、市内外各界で活躍している方の講話等を通して、将来の人生設計について働きかける。結婚や子どもを産み育てる大切さ等についても題材とし、結婚や人口減少対策が家庭でも話題となるよう保護者の参加も促し、意識啓発を図る。
事業内容	(1) 市内各小中学校で選定した講師による、「ライフデザイン」に関する講話・体験等の実施

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	1,000	補正額等	0	合計	1,000	決算額	618
31	当初予算額	1,000	補正額等	3	合計	1,003	決算額	891

4. 事業の実施状況

<p>市内各小中学校における講話・体験等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内すべての小中学校で、38回にわたって「ライフデザインセミナー」を実施した。(小学校:31回、中学校:7回) 実施内容 地域や日本・世界で活躍する方による講話、地域で活躍する企業の方による講話、地域貢献に関する講話、福祉・ボランティアに関する講話、命や誕生に関する講話、ライフデザインや生き方に関する講話、郷土のよさや歴史に関する講話、職業に関する講話・体験等
--

5. 事業の評価

<p>(1) 市内すべての学校で「ライフデザイン」に関する講話・体験を実施した。地域で活躍する方々の講話や職業・命・誕生・ライフデザインに関する講話等を通して、児童生徒に地域のよさや自分の生き方などにも意識を向けさせたり、これからの生き方を深く考えさせたりすることができた。</p> <p>(2) コロナ禍での事業実施となり、広く市民を対象とした講演等は実施しなかったが、各学校での「ライフデザインセミナー」については、実施した回数は昨年度よりも8回多く、講師の数も29人増えて77人を数えるなど、より充実した活動が展開できた。</p> <p>(3) PTAの学年行事として実施し、親子で職業について学ぶ場を設けたり、市内の企業と連携して探究的な学習を推進したりするなど、地元の企業と連携した新たな形での「ライフデザインセミナー」を行う学校も見られた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 未来の寒河江を担う「さがえっこ」が、自分の「ライフデザイン」について深く考え、地元に残って生活し、結婚・子育てをしたいという思いを強くもってもらえるよう、保護者や地元企業などとも連携しながら、今後もこの事業を継続して実施していく。</p> <p>(2) 各学校が実施計画を立案する際の参考となるよう、前年度に各学校で実施した事業の実施内容や講師についての情報を一覧にしたデータを、今後もセンターサーバーに保存し、共有化を一層推進していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小中学校ICT活用支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。また、子供たちがICTを正しく活用できる力を養えるよう支援する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システムの運用 ・ICT支援員による各学校での教職員への支援事業 ・ICT機器の購入及び保守点検 ・GIGAスクールタブレットを導入し、ICT教育の充実を図った。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	14,132	補正額等	337,192	合計	351,324	決算額	285,192
31	当初予算額	12,300	補正額等	127,321	合計	139,621	決算額	10,737

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・各学校におけるICT関連機器の不具合等に迅速に対応するため、保守点検の委託業務を実施。 ・教職員のICT活用支援のため外部委託で支援員を設置し、各学校で教職員への支援事業を行った。 ・校務支援システムを全小中学校に導入した。 ・企業からの寄附を活用し、パソコンレスの電子黒板を全小中学校に設置した。 ・補正予算にて、GIGAスクールタブレットを導入し、全児童生徒に配布した。 ・タブレットPC (iPad) 290台を教員用として配布した。
--

5. 事業の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員による各学校での教職員支援事業を行い、ICT教育の充実を図った。 ・GIGAスクールタブレットによる、双方向型授業及びミライシードASP版の活用を可能とした。 ・パソコンレスの電子黒板の導入により、授業等での使用がより容易になった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	全児童生徒へのタブレットが導入され、授業での使用はもちろん、家庭学習や、一部小学校ではオンラインによる「家庭訪問」としての使用がなされる。「学校だより」等の配布物も、タブレットを通してデータ配信される予定。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学援助事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護児童及び特別支援学級児童の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該児童の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費を支給し、就学を援助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	12,723	補正額等	0	合計	12,723	決算額	9,258
31	当初予算額	12,120	補正額等		合計	12,120	決算額	7,762

4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費の支給	対象児童:155名	金額	8,498,334円	(H31:165名 6,939,656円)
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童:34名	金額	758,698円	(H31:36名 821,970円)
他市町村の支給状況(寒河江市では支給なし)				
体育実技用具費	山形市・米沢市・鶴岡市・酒田市・新庄市・天童市・南陽市・山辺町・舟形町・真室川町・鮭川村・高畠町・川西町・白鷹町・飯豊町			
通学費	酒田市・新庄市・上山市			
生徒会費	村山市・尾花沢市・南陽市・中山町・朝日町・川西町・庄内町			
PTA会費	村山市・尾花沢市・中山町・朝日町・大江町・高畠町・川西町・庄内町			

5. 事業の評価

令和2年度、新型コロナウイルスの影響により、収入が大きく減少した世帯についても支給対象となるよう(通常は、前年度の世帯収入により判断)制度の充実を図った。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	令和3年度より、GIGAスクールタブレットを家庭でも活用するため、オンライン学習通信費を追加した。他市町の援助内容を踏まえ、さらに援助内容の拡大を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学援助事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 3 中学校費 3 教育振興費
教育振興計	1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり		

2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護生徒及び特別支援学級生徒の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該生徒の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、クラブ活動費、医療費等を支給し、就学を援助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	17,456	補正額等	0	合計	17,456	決算額	8,088
31	当初予算額	19,096	補正額等		合計	19,096	決算額	11,341

4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護生徒就学援助費の支給	対象生徒: 105名	金額	7,415,910円	(H31: 113名 10,621,093円)
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象生徒: 23名	金額	671,213円	(H31: 23名 719,434円)
他市町村の支給状況(寒河江市では支給なし)				
体育実技用具費	山形市・米沢市・鶴岡市・酒田市・新庄市・天童市・長井市・南陽市・山辺町・真室川町・高畠町・川西町・白鷹町・飯豊町			
通学費	酒田市・新庄市・上市市・三川町			
生徒会費	村山市・尾花沢市・南陽市・中山町・朝日町・川西町・庄内町			
PTA会費	村山市・尾花沢市・中山町・朝日町・大江町・高畠町・川西町・庄内町			

5. 事業の評価

令和2年度、新型コロナウイルスの影響により、収入が大きく減少した世帯についても支給対象となるよう(通常は、前年度の世帯収入により判断)制度の充実を図った。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	令和3年度より、GIGAスクールタブレットを家庭でも活用するため、オンライン学習通信費を追加した。他市町の援助内容を踏まえ、さらに援助内容の拡大を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業(小学校)	所管課・係	学校教育課	
			学事係	
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	款	10 教育費
教育振興計画	4 食育の推進		項	2 小学校費
	豊かな心と命を育む食育の推進 地産地消の推進		目	2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	学校給食を実施することにより、児童の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。
事業内容	全小学校において自校調理方式による完全給食を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	144,385	補正額等	5,725	合計	150,110	決算額	137,176
31	当初予算額	115,612	補正額等	△ 224	合計	115,388	決算額	104,574

4. 事業の実施状況

<p>(1) 小学校給食費の助成</p> <p>(2) 給食調理業務の民間委託(西根小、柴橋小、高松小に加え、新たに寒河江中部小、南部小にて実施)</p> <p>(3) 「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</p> <p>(4) 給食だより等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布したりして、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</p> <p>(5) 各種会議・研修会の開催 献立作成会議、給食主任会の開催(調理師研修会、調理師・給食主任合同研修会は中止)</p> <p>(6) 寒河江市産の牛肉とさくらんぼをとおして地元食材の美味しさを児童に知ってもらうとともに、新型コロナウイルス感染症対策として市内の経済活性化を行った。</p>
--

5. 事業の評価

<p>(1) 平成29年度から開始した給食費助成を継続し、1食300円に対して160円を助成した。 (令和元年度は1食280円に対して140円を助成)</p> <p>(2) 小学校給食費単価を見直し、給食内容を充実させた。(1食280円から300円に引き上げ)</p> <p>(3) 小学校の第3子以降の給食費は全額を助成した。 対象範囲を高校3年生までとして、小学校に在籍する児童が第3子以降に該当する場合は、その対象児童の給食費を全額助成。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>・令和3年度より学校給食費の完全無料化を実施。 (県内で小中学校給食費無料化は、鮭川村に続き、2番目)</p> <p>・給食用米飯について、令和4年度から、今後新設される「山形広域炊飯施設」(山形市)より購入する。</p> <p style="text-align: right;">R3 小学校給食賄材料費 148,415千円</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 地産地消の推進	項	3 中学校費
		目	2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	中学校給食を実施することにより、成長期にある中学生に安全安心で栄養バランスのとれたおいしい食事を提供し心身の健全な発達に資するとともに、それを生きた教材として活用し食育の充実を図る。
事業内容	全中学校において民設民営による給食センター方式で完全給食を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	201,072	補正額等	3,334	合計	204,406	決算額	196,625
31	当初予算額	191,242	補正額等		合計	191,242	決算額	186,081

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> (1) 中学校給食費の助成(h29~) (2) 「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。 (3) 給食日より等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布するなど、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。 (4) 各種会議・研修会の開催 献立作成会議、給食主任会の開催(調理師研修会、調理師・給食主任合同研修会は中止) (5) 寒河江市産の牛肉とさくらんぼをとおして地元食材の美味しさを生徒に知ってもらうとともに、新型コロナウイルス感染症対策として市内の経済活性化を行った。 (6) 中学校給食を開始した平成23年から10年目に当たり、調理業務委託の契約更新を行った。

5. 事業の評価

<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成29年度から開始した給食費助成を継続し、1食330円に対して175円を助成した。 (令和元年度は1食310円に対して155円を助成) (2) 中学校給食費単価を見直し、給食内容を充実させた。(1食310円から330円に引き上げ) (3) 中学校の第3子以降の給食費は全額を助成した。 対象範囲を高校3年生までとして、中学校に在籍する生徒が第3子以降に該当する場合は、その対象生徒の給食費を全額助成。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度より学校給食費の完全無料化を実施。 (県内で小中学校給食費無料化は、鮭川村に続き、2番目) ・給食用米飯について、令和4年度から、今後新設される「山形広域炊飯施設」(山形市)より購入する。 <p style="text-align: right;">R3 中学校給食賄材料費 78,827千円</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	市史編纂事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 8 市史編纂費
教育振興計画	2 郷土の歴史と文化を大切にすることを推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護		

2. 事業の概要

事業目的	歴史資料の収集、調査を行い、市史を発刊し、寒河江市の歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1) 市史編纂専門員2名の配置 (2) 郷土資料の収集・解説・研究 (3) 市史等の原稿執筆・編集・発刊

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	11,441	補正額等	0	合計	11,441	決算額	8,549
31	当初予算額	9,317	補正額等	△ 120	合計	9,197	決算額	7,877

4. 事業の実施状況

<p>(1) 市史編纂委員会を開催して、市史の編集方針や発刊等について協議した。</p> <p>(2) 市史編纂事業計画に基づき、寒河江市史資料編「慈恩寺最上院日記 下」を発刊した。</p> <p>(3) 寒河江市史編纂叢書第90集「復刻 三泉村誌」、市史資料所在目録第21号を発刊した。</p> <p>(4) 歴史文化活動推進員に依頼し、市指定文化財の現状確認調査を実施した。</p> <p>(5) 市史編纂事業の周知と資料収集の広報を兼ねて、毎月、市報5日号「生涯学習のまど」内に「市史編さんだより」を掲載した。</p>
--

5. 事業の評価

<p>(1) 市史資料編「慈恩寺最上院日記 下」並びに市史編纂叢書の発刊により、市の歴史を後世に伝える基礎資料の整備が進み、更に、市民の市史に対する関心を高めることができた。</p> <p>(2) 市指定文化財の現状確認により、文化財の所在及び保存状況が確認され、個人等所有者に対しては散逸や消失を防ぐ意識づけが図られた。また、歴史資料の収集や慈恩寺最上院日記等古文書の解説により、市内の歴史・文化資料の適切な保存と活用に資することができた。</p> <p>(3) 「市史編さんだより」の市報掲載や歴史に関する相談に随時対応することにより、ふるさとの歴史の啓発・普及が図られた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 市史編纂委員会において策定した市史編纂事業計画に基づき、発刊作業を進める。令和3年度は、市史編纂叢書第91集を発刊する。</p> <p>(2) 市史編纂事業の実施に当たっては市史編纂専門員体制を維持し、歴史文化活動推進員等の協力を得ながら郷土の歴史資料の収集、並びに散逸・消失を防ぐと共に、調査研究を進め、市民等への市史の普及を図る。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化財保存活用事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費
教育振興計画	2 郷土の歴史と文化を大切にすることを推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護		

2. 事業の概要

事業目的	(1) 県指定天然記念物種蒔ザクラを活用し、まちづくり及び観光振興を図る。 (2) 文化財の保存活用を推進する。
事業内容	(1) 種蒔ザクラ保護育成工事 (2) 「文化財保存活用地域計画」作成に向けた内容の検討、並びに歴史文化振興検討委員会の開催

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	480	補正額等	合計	480	決算額	477
1	当初予算額	6,556	補正額等	合計	6,556	決算額	5,015

4. 事業の実施状況

<p>(1) 種蒔ザクラの保護育成工事(風雪等による枝折れ防止のための支柱交換工事並びに剪定)を行った。</p> <p>(2) 種蒔ザクラの所在地である白岩新町地区の「新町桜と花の会」が種蒔ザクラ及び周辺環境美化(花壇植栽)や花見時期のライトアップ等、見物客の誘客等に取り組んでおり、駐車場の一角に四阿が設置された。</p> <p>(3) 「文化財保存活用地域計画」の作成に向け、文化庁の担当調査官を招聘し指導を受けるとともに、歴史文化振興検討委員会を2回開催し、内容の検討を行った。</p> <p>(4) 大江広元公が令和4年度のNHK大河ドラマで取り上げられることから、ゆかりの地である本市市民の機運盛り上げを図るため市役所庁舎外2カ所に看板・懸垂幕を設置した。</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 令和元年度事業として種蒔ザクラ下に駐車場を新設整備したことで、地元住民の文化財を核とした地域づくりへの意識が大いに高まり、住民団体による自主的な文化財の保存活動が行われるという、大変好ましい事例につながっている。</p> <p>(2) 市としては、専門的な識者のアドバイスを受けながら、専門業者に依頼して樹体の保護延命や環境整備を行っていく必要がある。</p> <p>(3) 「文化財保存活用地域計画」の原案に対し、文化庁の指導並びに有識者の意見等をいただき、計画掲載事項等の詳細な確認ができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 令和3年度は、種蒔ザクラの説明看板を駐車場内に設置するほか、令和元年度に寄付を受けた花買場跡の環境整備工事を行い、指定文化財の活用・保存を図って行く。</p> <p>(2) 文化財を後世に伝えるため、文化財の保存と活用に努めていく。</p> <p>(3) 「文化財保存活用地域計画」については、本年度中の文化庁認定を目指し、作業や手続きを進める。</p> <p>(4) 大江広元公並びに寒河江大江氏に関するパンフレット作成等、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機として、本市の歴史とともに市内外に情報発信していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	埋蔵文化財調査事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切にすることを推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護 史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	埋蔵文化財の調査・保存を図るとともに、歴史と文化を尊び文化財に対する市民の意識高揚を図る。
事業内容	(1) 史跡の追加指定に関係する遺跡の調査を行う。 (2) 文化財保護法に基づき市内遺跡の調査を行い、報告書を作成するとともに埋蔵文化財の記録保存を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	4,954	補正額等	0	合計	4,954	決算額	4,474
31	当初予算額	2,425	補正額等	268	合計	2,693	決算額	2,687

4. 事業の実施状況

(1) 発掘調査 ① 国史跡「慈恩寺旧境内」への追加指定に向けて、上の寺遺跡関連地の発掘調査を行った。 ② 工事実施に関係する調査として、慈恩寺遺跡の発掘調査、並びに白岩楯地内、日田城の内跡の試掘調査を行った。 (2) レーザー測量業務委託 国史跡の追加指定に係る基礎資料の整備として、上の寺遺跡及び周辺地の地形図を航空レーザー測量業務委託により作成した。 (3) 慈恩寺調査検討委員会 委員会を2回開催し、国史跡の追加指定に向けた上の寺遺跡の調査状況の報告、並びに発掘調査の進め方を検討した。 (4) 埋蔵文化財フェア 「慈恩寺上の寺－慈恩寺の古代・中世が見える遺跡－」 開催期間:9月3日～9月16日 内容:パネル並びに遺物の会場:寒河江市市美術館 来場者数:271名 講演会 開催日:9月5日 講師:山形県埋蔵文化財センター専門調査研究員 高桑 登 氏 聴講者:65名 演題:上の寺遺跡から慈恩寺の古代・中世を探る

5. 事業の評価

(1) 上の寺遺跡関連地の発掘調査や航空レーザー測量による地形図の作成により、国史跡の追加指定に向けた範囲確定のため、並びに遺跡保護のための新たな基礎資料を得た。 (2) 埋蔵文化財フェアでは、上の寺遺跡発掘調査出土資料など107点を展示し、更に、「上の寺遺跡から慈恩寺の古代・中世を探る」と題して、山形県埋蔵文化センター 専門調査研究員 高桑 登 氏による講演をいただいたことにより、上の寺遺跡について、市民等に周知することができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 国や県の指導を受けながら慈恩寺調査検討委員会で協議し、上の寺遺跡等の国史跡追加指定具申のための総合調査報告書を作成する。 (2) 市内遺跡に関係する工事や開発事業の情報収集に努め、原因者への指導や試掘・発掘調査等について随時対応する。 (3) 埋蔵文化財の調査や「埋蔵文化財フェア」を開催して、遺跡の価値等について市民に周知していく。 (R3予算 8,309千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	郷土館保存事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費
教育振興計	2 郷土の歴史と文化を大切に活動の推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護		

2. 事業の概要

事業目的	(1) 県指定文化財である旧西村山郡役所、旧西村山郡会議事堂の保存を図る。 (2) 郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図り、歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1) 郷土館の保存・維持管理 (2) 郡制時代をテーマとした資料館としての一般開放 (3) 郷土館特別展の開催

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	4,071	補正額等	△ 84	合計	3,987	決算額	3,516
31	当初予算額	3,435	補正額等	△ 72	合計	3,363	決算額	3,194

4. 事業の実施状況

(1) 業務委託による管理運営並びに維持管理等の実施 … 主な委託業務:管理業務、機械警備、清掃業務等
(2) 保存管理に係る工事等の実施 … 旧西村山郡会議事堂天井面和紙張替え補修、敷地内支障木伐採処分、トイレ洋式化工事
(3) 郷土館一般公開 … 期間: 6月6日～11月8日の土・日・祝日 入館者数: 597名(参考/令和元年度: 1,942名) 郷土学習対応/9月24日 柴橋小、10月1日 高松小、10月7日 陵東中、10月27日 醍醐小、11月9日 寒河江中部小、11月11日 南部小 計 6回
(4) 郷土館特別展「さがえの宝～新しく指定された文化財の数々～」の開催 開催期間: 9月18日～10月11日 入館者: 193名(参考/令和元年度:198名) ○ 講演 講師:寒河江市文化財保護委員長 宇井 啓 氏 会場:中央公民館ホール 聴講者: 50名(参考/令和元年度:46名)
(5) 郷土館運営協議会の開催 … 期日: 3月22日 内容: 令和元年度事業報告、令和2年度事業状況報告、協議等

5. 事業の評価

(1) 管理運営並びに維持管理等業務の委託により、きめ細やかな管理を行うことができた。さらに、旧西村山郡会議事堂の天井補修や敷地内支障木の伐採処分、トイレ洋式化等により、文化財建築物の良好な保存及び公開に係る利便性の向上を図ることができた。
(2) 郷土館特別展では新しく指定された文化財の数々を紹介し、本市に所在する文化財の保存、活用等の状況について市内外に発信することができた。
(3) 市内の小・中学校の郷土学習や山形大学附属博物館の学芸員実習に対応し、郷土館のPRや収集・保管資料の活用ができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 県指定有形文化財である建物を後世に残すため、適正に保存していく。 (2) 特別展等の開催や展示替えを行い、郷土を学ぶ環境づくりに努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育委員会事務局管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費
教育振興計画	4 開かれた教育行政の推進 信頼に応える教育行政の推進 教育情報の公開と共有化の推進		

2. 事業の概要

事業目的	教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。
事業内容	(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務 (2) 教育功労、叙勲等に関する事務 (3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務 (4) 学校基本調査等各種調査に関する事務 (5) その他学校教育課内の庶務に関する事務

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	6,061	補正額等	4,020	合計	10,081	決算額	9,417
31	当初予算額	3,342	補正額等		合計	3,342	決算額	2,959

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> (1) 「寒河江市立学校のあり方検討委員会」の事務局として、第4回～第6回の検討委員会を実施した。 (2) 「第2次寒河江市教育振興計画」の計画期間の中間期にあたり、「寒河江市教育振興計画検討委員会」を発足し、事務局として委員会の開催、計画案の取りまとめ、パブリックコメントの実施等を行い、「第2次寒河江市教育振興計画(改定版)」を策定した。 (3) 幸生小学校の閉校に向け、記念事業の補助金を支出(200万円) (4) アイジー工業㈱からの寄附金をもとにした「アイジー地域産業未来応援基金」を創設した。 (5) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・高齢者叙勲 2件(H31 1件) ・死亡叙位 3件(H31 3件) (6) 教育委員会が執行した事務事業(平成31年度分)の点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表。 (7) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行。 (8) 寒河江市総合教育会議の開催 2回 (9) 教育委員に関する事務(毎月の定例委員会、学校訪問等)※視察研修は中止 (10) 学校施設整備時のアドバイザーとして、建築士に指導助言等の業務を委託 169万円 (11) 公用車等の借り上げ料 26万円

5. 事業の評価

<ul style="list-style-type: none"> (1) 策定から5年を迎える「第2次市教育振興計画」を見直し、計画の改定を行った。 (2) 新型コロナウイルス感染症に留意しながら、「寒河江市立学校のあり方検討委員会」を計3回実施し、将来的な小学校数などを検討した。 (3) 幸生小学校の閉校にあたり、閉校記念式典の実施協力、事務手続き、また備品等の処理等を行った。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	・「寒河江市立学校のあり方検討委員会」により、さらに検討を重ねていただき、令和3年12月見込の答申へとつないでいく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費
教育振興計画	2 安全安心で充実した教育環境の整備 安全管理の徹底		

2. 事業の概要

事業目的	小学校児童の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、小学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	小学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	220,014	補正額等	166,779	合計	386,793	決算額	196,481
31	当初予算額	157,022	補正額等	11,493	合計	168,515	決算額	155,148

※R2→R3繰越=161,006千円

4. 事業の実施状況

<p>(1) 保守点検、施設管理業務委託等</p> <p>① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、ボイラー清掃管理業務、給食グリストラップ清掃業務、ガス機器等点検業務、各小学校樹木剪定 等 91件(H31 88件)</p> <p>② 印刷機賃貸借 外</p> <p>(2) 修繕</p> <p>各小学校ガス機器点検後修繕、寒河江小学校PC室等照明照度不足改善修繕、高松小学校体育館用具室雨漏り修繕 等 106件(H31 106件)</p> <p>(3) 施設整備工事</p> <p>南部・高松・醍醐小学校特別教室等空調設備工事、南部小学校通学路舗装工事、高松小学校放送室放送設備更新工事 等 59件(H31 58件)</p> <p>(4) 備品整備</p> <p>児童用椅子、職員用事務椅子、パンチカーペット 外</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 昨年度で小学校普通教室、特別支援教室等のエアコン設置が完了し、今年度より特別教室等のエアコン整備を開始した。夏場の冷房だけでなく暖房にもエアコンを使用することで年間を通して快適な学習環境となるよう整備を図った。</p> <p>(2) 経年劣化が著しかった体育館での学校行事等で使用している巻カーペットについて更新した。7月の豪雨災害時に開設された避難所でも利用されたことを踏まえ、厚みのあるパンチカーペットに更新することで、学校設備の整備とともに、避難所としての防災機能の強化も図った。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) トイレ洋式化については、令和3年度中の整備により設置率50%とする。また、トイレ床の乾式化整備も計画的に進めていく。</p> <p>(2) エアコン整備については、今後も特別教室等の未設置教室への設置を計画的に進めていく。</p> <p>(3) ウィルス感染症対策として、水飲み場等の自動水栓化を令和3年度中に実施する。</p> <p>(4) 施設老朽化に伴う突発的な修繕や工事が年々増加し、これらへの対応判断が非常に難しい現状となっている。安全面を最優先に優先順位を見極め、適切かつ迅速な対応に努める。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	中学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費
教育振興計画	2 安全安心で充実した教育環境の整備 安全管理の徹底		

2. 事業の概要

事業目的	中学校生徒の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、中学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	192,867	補正額等	52,052	合計	244,919	決算額	174,778
31	当初予算額	63,305	補正額等	5,877	合計	69,182	決算額	61,420

※R2→R3繰越=50,151千円

4. 事業の実施状況

(1) 保守点検、施設管理業務委託等
① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、ボイラー清掃管理業務、貯水槽清掃点検業務、各中学校樹木剪定等 60件 (H31 51件)
② 印刷機賃貸借 外
(2) 修繕
陵東中学校廊下雨漏り修繕、陵南中学校プール内バルブ漏水修繕 外 30件 (H31 37件)
(3) 施設整備工事
全中学校トイレ大規模改修工事、陵東中学校特別教室等空調設備整備工事、陵南中学校特別支援教室内装改修工事 等 49件(H31 33件)
(4) 備品整備
生徒用椅子、職員用事務椅子、パンチカーペット、陵南中下足箱 外

5. 事業の評価

(1) 全ての中学校で、洋式便器の増設、男子小便器の自動水洗化、床の乾式化というトイレ大規模改修工事を行い、生徒の衛生環境改善を図った。
(2) 令和2年度で普通教室、特別支援教室等のエアコン設置が完了。令和3年度より特別教室等のエアコン整備を開始した。 また、陵東中においては石油ボイラーの使用を中止し、冷房だけでなく暖房にもエアコンを使用することで、年間を通じて快適な学習環境が整えられた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) エアコン整備について、令和3年度に陵南中と陵西中の特別教室等の未設置教室への設置を行う。 これで現時点で授業で使用している教室へのエアコン設置は完了となる。 (2) ウィルス感染症対策として、水飲み場等の自動水栓化を令和3年度中に実施する。 (3) 施設老朽化に伴う突発的な修繕や工事が増えており、これらへの対応判断が非常に難しい現状となっている。 安全面を最優先に優先順位を見極め、適切かつ迅速な対応に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成	項	2 小学校費
		目	2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	児童及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	児童及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	18,338	補正額等	13,768	合計	32,106	決算額	30,606
31	当初予算額	18,354	補正額等	225	合計	18,579	決算額	17,804

4. 事業の実施状況

(1) 児童検診	
①身体計測・内科・眼科・歯科各検診	2,115名 (H31 2,155名) ④尿検査 2,117名 (H31 2,156名)
②耳鼻科検診	1,672名 (H31 1,677名) ⑤貧血検査 333名 (H31 347名)
③心電図検査	330名 (H31 364名)
(2) 教職員検診	
①一般検診	179名(94.7%) H31 172名(94.0%) ②大腸がん(40歳以上希望 105名(78.9%) H31 106名(76.8%)
③胃がん(40歳以上)	101名(75.9%) H31 96名(69.6%)
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、照度、ダニアレルゲン)	
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によりプール授業が中止になったため、プール水検査は実施しなかった。	
(4) 教職員ストレスチェックを実施(平成28年度から) 受診対象者186名中受診者156名 受診率83.9%	
(H31 受診対象者184名中受診者153名 受診率83.2%)	

5. 事業の評価

児童及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、児童用マスクや消毒用アルコールを購入した。教職員検診において、ストレスチェック(H31・83.2%⇒R2・83.9%)の受診率は横ばいだった。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	児童の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し学習環境の整備に繋げる。新型コロナウイルス感染症対策として、消毒用アルコールを継続して購入する。ストレスチェック等、学校職員の心身健康管理については、新たに立ち上げた学校職員衛生委員会を中心に実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成	予算科目	10 教育費 3 中学校費 2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	生徒及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	生徒及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	8,871	補正額等	5,746	合計	14,617	決算額	13,455
31	当初予算額	9,253	補正額等	△363	合計	8,890	決算額	7,631

4. 事業の実施状況

<p>(1) 生徒検診</p> <p>① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診 1,099名 (H31 1,090名) ④ 尿検査 1,131名 (H31 1,108名)</p> <p>② 耳鼻科検診 570名 (H31 550名) ⑤ 貧血検査 958名 (H31 924名)</p> <p>③ 心電図検査 372名 (H31 388名)</p> <p>(2) 教職員検診</p> <p>① 一般検診 93名 (98.9%) H31 82名 (93.2%) ② 大腸がん(40歳以上希望) 47名 (71.2%) H31 41名 (70.7%)</p> <p>③ 胃がん(40歳以上) 49名 (74.2%) H31 44名 (75.9%)</p> <p>※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。</p> <p>(3) 環境衛生検査(飲料水、照度、ダニアレルギー)</p> <p>※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によりプール授業が中止になったため、プール水検査は実施しなかった。</p> <p>(4) 教職員ストレスチェックを実施(平成28年度から) 受診対象者91名中受診者61名 受診率67.0% (H31 受診対象86名中受診者51名 受診率59.3%)</p>

5. 事業の評価

<p>生徒及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、生徒用マスクや消毒用アルコールを購入した。 教職員検診において、ストレスチェック(H31・59.3%⇒R2・67.0%)の受診率は増加した。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>生徒の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し学習環境の整備に繋げる。 新型コロナウイルス感染症対策として、消毒用アルコールを継続して購入する。 ストレスチェック等、学校職員の心身健康管理については、新たに立ち上げた学校職員衛生委員会を中心に実施していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育振興事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	34,460	補正額等		合計	34,460	決算額	31,725
31	当初予算額	18,511	補正額等		合計	18,511	決算額	17,655

4. 事業の実施状況

学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。

① 教材教具、図書等一般事業 33,120 千円 (R元 16,451千円)
② 理科教育振興設備整備事業 1,340 千円 (R元 2,060千円)

令和2年度 教科書改訂
教師用教科書1771冊 629千円
教師用指導書1031冊 16,371千円

5. 事業の評価

(1) 令和2年度は教科書の改訂年度であり、教師用教科書及び指導書を購入し充実を図った。
(2) 児童1人1台タブレットPCの事業実施を見据えて、デジタル教科書を各校各学年1教科分導入した

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	・教材教具整備については、可能な限り学校からの要望に沿った整備を進め、継続して学習環境の充実を図っていく。 ・前年に引き続き、デジタル教科書を各校各学年1教科分導入する

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育振興事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費 3 中学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、生徒の適切な学習環境の整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	11,021	補正額等	-46	合計	10,975	決算額	9,400
31	当初予算額	11,900	補正額等	△ 148	合計	11,752	決算額	11,556

4. 事業の実施状況

<p>学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。</p> <p>① 教材教具、図書等一般事業 10,436 千円 (R元 10,730千円)</p> <p>② 理科教育振興設備整備事業 585 千円 (R元 1,170千円)</p> <p>主な購入備品 ・力学衝突エネルギー実験器(陵南中) ・生物顕微鏡(陵南中)</p>

5. 事業の評価

<p>理科備品については、国庫補助金を活用し、各学校からの要望を踏まえながら、優先的に整備すべき「重点設備」である顕微鏡などの実験器具等を整備したことにより、指導内容の充実に繋がった。備品によっては発注から納入まで時間がかかるものもあるため、早い時期からの対応に努めた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>・教材教具整備については、限られた予算内ではあるが、可能な限り学校からの要望に沿った整備を進め、継続して学習環境の充実を図っていく。</p> <p>・前年度に引き続き、生徒1人1台PCの授業実施を見据えて、デジタル教科書を各校各学年2教科分導入</p> <p>・令和3年度は、教科書改訂年度であり、教師用教科書及び指導書について予算を計上(7,793千円)</p> <p style="text-align: right;">(R3 20,023千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	ICT整備推進事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。小学校における情報教育を円滑に行えるよう、パソコン機器や電子黒板等の整備充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の授業用パソコンの整備。 ・授業等で使用する電子黒板の整備。 ・校務用(職員室等)パソコンの整備。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	40,370	補正額等	0	合計	40,370	決算額	39,884
31	当初予算額	35,953	補正額等		合計	35,953	決算額	34,026

4. 事業の実施状況

<p>小学校パソコン機器等(リースにて整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パソコン 児童用デスクトップPC195台、児童用ノートPC58台、教師用デスクトップPC21台、電子黒板用PC25台、校務用PC180台 ○プリンター A3モノカラーレーザー16台、A3カラーレーザー10台、A4モノカラーレーザー10台、A4カラーレーザー6台、A3カラーインクジェット複合機3台、A3カラーインクジェット3台 ○電子黒板等 電子黒板25台、プロジェクター10台 ○その他 ルーター、ファイヤーウォール、スイッチ等
--

5. 事業の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン機器等は、基本的に5年間のリース契約にて整備、更新している。 ・全児童へタブレットが配布され、さらに効果的な活用ができるよう、普通教室配置の電子黒板を増設した。(R2 19台)→R9まで全普通教室への設置完了予定。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	授業及び家庭学習において1人1台タブレットパソコンを活用していく。あわせて、パソコン教室等設置の児童用パソコンは、リース満了分から撤去していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	ICT整備推進事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費 3 中学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。中学校における情報教育を円滑に行えるよう、パソコン機器や電子黒板等の整備充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業用パソコンの整備。 授業等で使用する電子黒板の整備。 校務用(職員室等)パソコンの整備。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	18,216	補正額等	46	合計	18,262	決算額	12,737
31	当初予算額	14,213	補正額等	△ 392	合計	13,821	決算額	13,640

4. 事業の実施状況

<p>中学校パソコン機器等(リースにて整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パソコン 生徒用デスクトップPC60台、生徒用ノートPC50台、教師用デスクトップPC6台、電子黒板用PC15台、校務用PC100台 ○プリンター A3モノクロレーザー3台、A3カラーレーザー複合機3台、A3カラーレーザー5台、A4モノクロレーザー10台、A3カラーインクジェット複合機2台、A3カラーインクジェット3台 ○電子黒板等 電子黒板15台、プロジェクター3台 ○その他 ルータ、ファイアーウォール、スイッチ等

5. 事業の評価

<ul style="list-style-type: none"> 情報機器の維持管理修繕を行った。 全生徒へタブレットが配布され、さらに効果的な活用ができるよう、普通教室配置の電子黒板を増設した。(R2 14台)→R4まで全普通教室への設置完了予定。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	授業及び家庭学習において1人1台タブレットパソコンを活用していく。また、大規模校では一定程度の通信速度を確保させるため、使用状況を確認しながら、回線の改善を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 多様な学習環境づくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	遠距離通学を余儀なくされている幸生・田代地区の児童生徒の就学機会を確保する。
事業内容	スクールバスの運行業務を市内タクシー会社に委託し、幸生・田代地区の児童生徒の登下校時の送迎を行う。 また、しらいわ保育所に通所する幸生・田代地区の児童の送迎を行うとともに、小中学校の校外学習活動及び陵西中学校の部活動の交通手段にも活用する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

2	当初予算額	8,159	補正額等	0	合計	8,159	決算額	6,474
31	当初予算額	8,262	補正額等	0	合計	8,262	決算額	7,253

4. 事業の実施状況

(1) 利用者	陵西中学校 12名 (幸生地区8名・田代地区4名) ※H31 12名 (幸生地区6名・田代地区6名) 白岩小学校 2名 (田代地区2名) ※H31 2名 (田代地区2名) しらいわ保育所 5名 (幸生地区5名) ※H31 7名 (幸生地区7名)
(2) 運行状況	陵西中学校・白岩小学校及びしらいわ保育所への送迎 (延べ458日) ※H31 (延べ453日) 自然の家での体験学習や公共施設の見学学習など校外活動等の利用 (延べ91日) ※H31 (延べ113日) 陵西中学校の部活動等での利用 (延べ8日) ※H31 (延べ30日) ふるさと学習での利用 (延べ3日) 慈恩寺3日 ※H31 (延べ6日) 慈恩寺4日・老人ホーム2日

5. 事業の評価

小中学校への送迎や校外活動のほか、令和3年度の白岩小学校と幸生小学校の統合に向けて行われる交流学習の移動手段としてスクールバスを活用した。 バス運行業務委託業者との連絡を滞りなく行い、スムーズなスクールバス利用が行われた。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各小中学校からの利用の要望に可能な限り対応するとともに、事故のないよう運行業務委託業者に指導を行う。 令和3年度より、旧幸生小児童の白岩小への登下校利用を開始。

令和3年8月

◆学校教育課

〒991-8601 寒河江市中央一丁目9番45号
TEL 0237-86-2111(代表) FAX 0237-86-8691
e-mail kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp

◆生涯学習課

〒991-0003 寒河江市大字西根字石川西333
TEL 0237-86-5111 FAX 0237-86-2201
e-mail shogaku@city.sagae.yamagata.jp

◆スポーツ振興課

〒991-0003 寒河江市大字西根字石川西365 (市民体育館内)
TEL 0237-84-1877 FAX 0237-86-9876
e-mail sports-sagae@city.sagae.yamagata.jp

【寒河江市教育委員会】
